

立川競輪事業の将来像について（2014年版）

平成26年11月

立 川 市

目 次

I はじめに	1
---------------	---

II 立川競輪を取り巻く現状

1.競輪事業の現状

(1)公営競技全体の動向	2
(2)娯楽産業全体の動向	3

2.立川競輪の現状

(1)車券売上の推移と過去の予測との比較	4
(2)その他売上の推移と過去の予測との比較	5
(3)開催経費の推移と過去の予測との比較	6
(4)収支の推移と過去の予測との比較	7

3.開催経費の推移

4.今後の収支予測

(1)車券売上の推移予測	9
(2)その他収入の推移予測	10
(3)支出の推移予測	11
(4)収支の推移予測	12

5.顧客ニーズ分析

(1)立川競輪来場者アンケート調査	13
(2)アンケート結果まとめ	14

6.他競技場調査

17

III 収支改善策

1. 施設改善	18
2. 経費削減	22

IV 今後の収支予測（改善後）

1. 車券売上の推移予測（改善後）	28
2. その他収入の推移予測（改善後）	29
3. 支出の推移予測（改善後）	30
4. 収支の推移予測（改善後）	31

V まとめ	32
-------	----

資料	33
----	----

資料1. 参考資料（収支改善について）	34
---------------------	----

資料2. アンケート調査結果	39
----------------	----

I はじめに

立川競輪場は、昭和 26 年に開設し、経済の活性化に寄与するとともに収益から 1,300 億円を超える金額を一般会計に繰出し、教育施設、道路、下水道の整備等市財政に大きく貢献してきました。

しかしながらレジャーの多様化、お客様の高齢化、少子高齢化に伴う経済構造の変化、景気の悪化などの影響により、車券発売金額は平成 4 年度の 907 億円をピークに年々減少し、平成 25 年度には 290 億円となりました。（平成 25 年度は特別競輪である競輪グランプリを開催しましたが、特別競輪の開催がなかった平成 23 年度の車券発売金額は 173 億円でした。）また、一般会計への繰出金も平成元年度の 78 億円をピークに減少し、平成 17 年度以降は、競輪事業の財政基盤の安定や今後の施設整備のため、収益金は基金に積み立て、一般会計への繰出金は毎年 1,000 万円としています。

車券発売金額ピーク時には全国には 50 場の競輪場がありましたが、収益の悪化から廃止された競輪場もあり、現在では 43 場となっています。最近では、平成 26 年 3 月末に一宮競輪場が廃止となり、場外車券発売場となっています。

立川市営競輪においても車券発売金額減少が続く状況から、さらなる経営の合理化と売上浮揚策を早急に講じる必要があります。

競輪事業の使命は市財政への貢献にあります、それ以外にも、地域経済の活性化、市民の雇用の場の確保などにも寄与し、持続的な競輪事業運営が求められています。

このような状況から平成 23 年度に、売上浮揚策と経費の合理化による歳出削減策を検討し、安定的に収益を確保し、持続可能な競輪事業を目指すために平成 28 年度までを計画期間とする「立川競輪事業の将来像について」を作成しました。

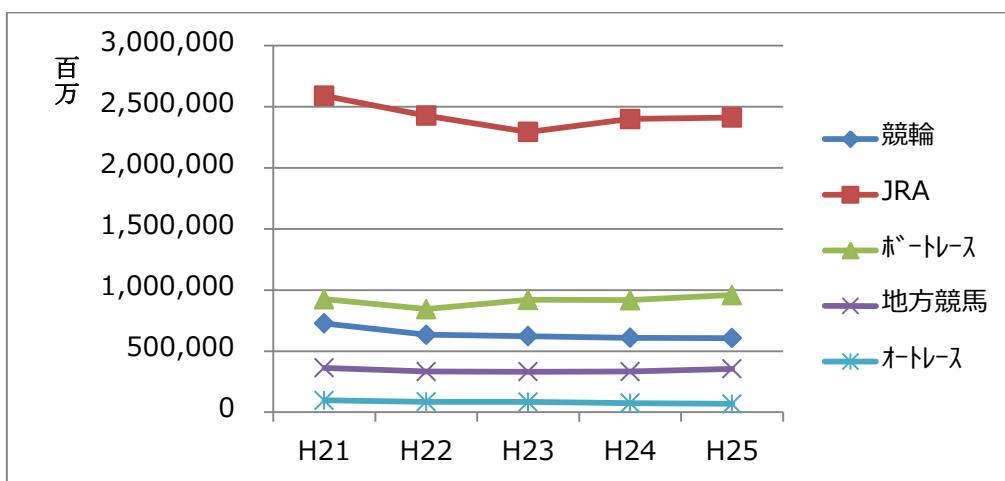
今回は、競輪場の相次ぐ撤退や消費税増税等競輪界を取り巻く状況が大変厳しい状況になっていることから、平成 23 年度に作成した「立川競輪事業の将来像について」の検証作業・現状分析を行い、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間の収益見込みを予測すると共に、安定的な収益を確保するための施策を検討します。

II 立川競輪を取り巻く現状

1. 競輪事業の現状

(1) 公営競技全体の動向

年度	H21	H22	H23	H24	H25	(単位:円)
競輪	727,581,930,400	634,988,196,600	622,936,932,200	609,125,255,300	606,310,277,800	
JRA	2,590,073,500,500	2,427,565,594,700	2,293,578,053,600	2,394,308,856,700	2,404,933,513,200	
ボートレース	925,745,553,600	843,462,787,000	919,842,245,700	917,557,828,500	947,593,546,600	
地方競馬	363,410,626,000	333,238,935,200	331,437,682,700	332,606,034,800	355,330,441,500	
オートレース	97,263,783,900	86,128,733,300	84,386,949,100	75,566,801,600	68,754,328,300	



公営競技全体でみた場合、平成 25 年度の売上は約 4 兆 3829 億円（前年度 1.2%増）となり、前年度に引き続いての増加となりました。

中央競馬 0.4%増、地方競馬 6.8%増、ボートレース 3.3%増に対し、競輪 0.5%減、オートレース 9.1%減と競技によって明暗が分かれた結果となり、地方競馬の売上増加は馬券購入施設の新設・インターネット投票における中央競馬利用者との共通利用化によるところが大きく、ボートレースの売上増加は積極的な広告宣伝の実施や外向場外発売所の開設の影響が大きく、業界施策の成果に連動する形になったと考えられます。

（2）娯楽産業全体の動向

娯楽産業全体でみた場合、市場規模は約43兆780億円（前年度0.8%増）となり、2年連続での増加となりました。

分野別では外食産業・宝くじ・スポーツ振興くじ・公営競技の部門にて前年比増となりましたが、テレビゲーム・パチンコ・スロットの部門にて前年比減となり、部門による施策効果が如実に表れた結果になったと考えられます。

2.立川競輪の現状

(1)車券売上の推移と過去の予測との比較

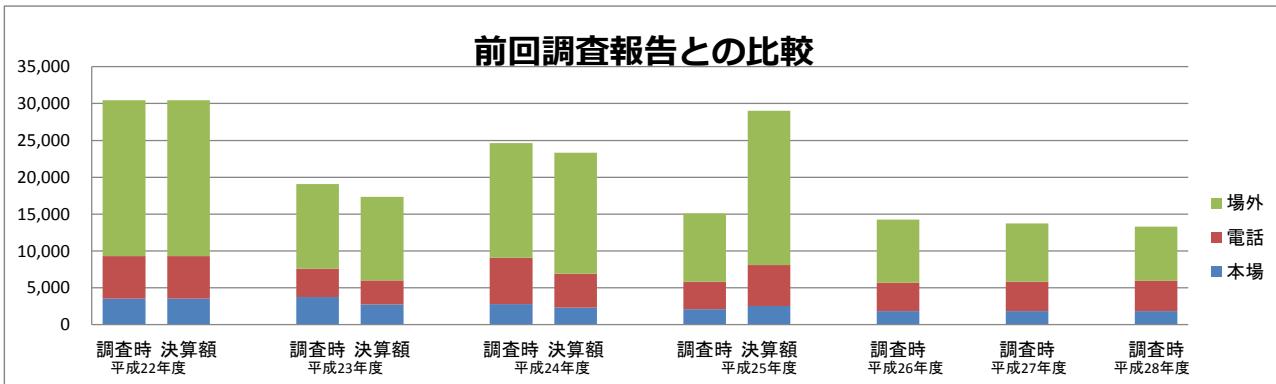
前回調査報告における車券発売額の検証として、決算額と比較しました。

<前回調査報告> ※前回調査報告書P20 別表9-①					(単位：百万円)	
開催年度	合計	本場	電話	場外	内訳	
平成22年度 (2010)	30,468	3,500	5,804	21,163	普通開催 (本場160,000,000円/節、電話124,000,000円/節) 重勝式5,600,000×16節、場外4,554,000,000)	GP：128億4,000万 記念：85億3,000万
平成23年度 (2011)	19,088	3,740	3,855	11,493	普通開催 (本場180,000,000×18節、電話140,000,000×18節、 重勝式7,500,000×18節、場外4,893,000,000)	記念 83億円
平成24年度 (2012)	24,646	2,772	6,305	15,569	普通開催 (本場116,000,000×17節、電話130,000,000×17節、 重勝式5,600,000×17節、場外4,369,000,000)	日本選手権 160億円
平成25年度 (2013)	15,089	2,086	3,749	9,254	普通開催 (本場99,000,000×18節、電話136,000,000×18節、 重勝式5,600,000×18節、場外4,158,000,000)	記念 66億円
平成26年度 (2014)	14,265	1,810	3,875	8,580	普通開催 (本場85,000,000×18節、電話143,000,000×18節、 重勝式5,600,000×18節、場外3,960,000,000)	記念 61億円
平成27年度 (2015)	13,715	1,810	4,001	7,904	普通開催 (本場85,000,000×18節、電話150,000,000×18節、 重勝式5,600,000×18節、場外3,762,000,000)	記念 56億2000万円
平成28年度 (2016)	13,273	1,810	4,127	7,336	普通開催 (本場85,000,000×18節、電話157,000,000×18節、 重勝式5,600,000×18節、場外3,574,000,000)	記念 52億4000万円

<決算額>					(単位：百万円)	
開催年度	合計	本場	電話	場外	内訳	
平成22年度 (2010)	30,468	3,500	5,804	21,163	普通開催 (本場160,000,000円/節、電話124,000,000円/節) ×16節 重勝式5,600,000×16節、場外4,554,000,000)	GP：128億4,000万 記念：85億3,000万
平成23年度 (2011) (90.8%)	17,335 (73.3%)	2,740 (84.7%)	3,265 (98.6%)	11,330 (98.6%)	普通開催 (本場137,000,000円/節、電話106,000,000円/節) ×17節 重勝式3,600,000×17節、場外4,445,000,000)	記念 87億円
平成24年度 (2012) (94.6%)	23,319 (83.6%)	2,317 (73.0%)	4,600 (105.4%)	16,402 (105.4%)	普通開催 (本場118,000,000円/節、電話125,000,000円/節) ×15節 重勝式1,700,000×15節、場外5,226,000,000)	日本選手権 144億7,000万円
平成25年度 (2013) (192.5%)	29,040 (121.5%)	2,534 (147.4%)	5,526 (226.7%)	20,980 (226.7%)	普通開催 (本場94,000,000円/節、電話99,000,000円/節) ×17節 重勝式1,000,000×17節、場外3,673,000,000)	GP：132億8,000万 記念：88億3,000万

※1：(カッコ)内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。

※2：電話売上には、重勝式売上 (Dokanto!)を除く) が含まれます。



(前回調査報告と決算額との差異要因)

平成23年度 実績 GⅢ：1節4日、FⅠ：7節21日、FⅡ10節30日

平成24年度 実績 GⅠ：1節6日、FⅠ：6節19日、FⅡ9節27日

前回調査では普通開催17節と日本選手権 (GⅠ) 1節での予測値であったことに対し

実績は普通開催15節 (46日) となりました。

日本選手権 (GⅠ) の車券売上は、160億円の予測に対して決算額145億円と15億円の減額になりました。

減額の要因は、給料日前でもあったことと年金支給月でないことから購買額が減少したと考えられます。

平成25年度 実績 GP：1節3日、GⅢ1節4日、FⅠ：6節18日、FⅡ11節33日

GP開催があったことに加え、記念開催の売上も増額となったことが要因で売上が大きく上昇となりました。

(2)その他売上の推移と過去の予測との比較

<前回調査報告>

(単位：百万円)

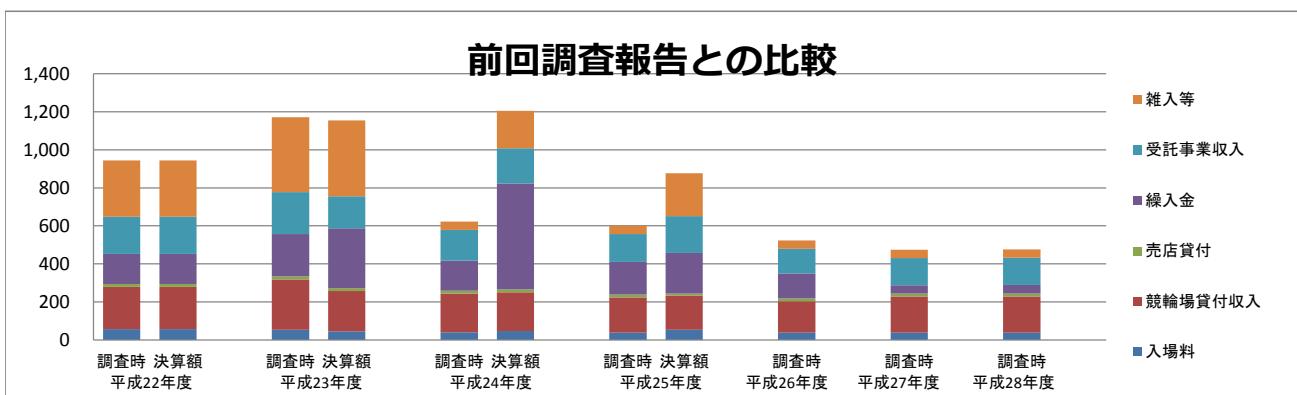
開催年度	合計	入場料	競輪場貸付 収入	売店貸付	繰入金	受託事業 収入	雑入等
平成22年度 (2010)	944	57	222	15	159	195	296
平成23年度 (2011)	1,171	54	263	17	223	221	393
平成24年度 (2012)	623	40	204	15	158	162	44
平成25年度 (2013)	601	39	184	15	173	146	44
平成26年度 (2014)	524	38	166	15	130	131	44
平成27年度 (2015)	474	38	190	15	45	142	44
平成28年度 (2016)	476	38	190	15	47	142	44

<決算額>

(単位：百万円)

開催年度	合計	入場料	競輪場貸付 収入	売店貸付	繰入金	受託事業 収入	雑入等
平成22年度 (2010)	944	57	222	15	159	195	296
平成23年度 (2011)	1,154 (98.5%)	45 (83.3%)	212 (80.6%)	15 (88.2%)	315 (141.3%)	168 (76.0%)	399 (101.5%)
平成24年度 (2012)	1,206 (193.6%)	47 (117.5%)	204 (100.0%)	14 (93.3%)	558 (353.2%)	185 (114.2%)	198 (450.0%)
平成25年度 (2013)	877 (145.9%)	53 (135.9%)	181 (98.4%)	10 (66.7%)	213 (123.1%)	195 (133.6%)	225 (511.4%)

※1：(カッコ)内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。



・ 繰入金について

- 平成23年度 希望離職実施のための財源として増加となりました。
 平成24年度 走路全改修のための財源として増加となりました。
 平成25年度 施設改修工事設計のための財源として増加となりました。

・ 受託事業収入について

- 平成24年度 受託場外やサテライト（場外車券発売場）、インターネット場外の車券売上が予想を上回ったためです。
 平成25年度 記念場外の併売日数が多かったため収入が増加となりました。

・ 雑入について

- 平成24年度 前年度繰越金が多かったため増加となりました。
 平成25年度 前年度繰越金が多かったため増加となりました。
 日本選手権競輪、G Pの時効収入が多かったため増加となりました。

(3)開催経費の推移と過去の予測との比較

<前回調査報告>

(単位：百万円)

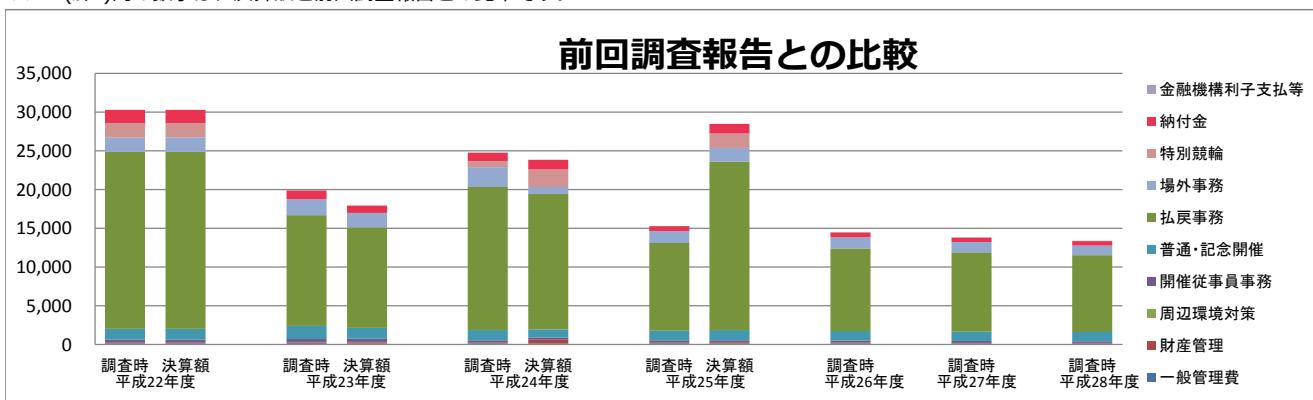
開催年度	合計	一般管理費	財産管理	周辺環境対策	開催従事員事務	普通・記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構利子支払
平成22年度 (2010)	30,293	148	111	16	348	1,432	22,808	1,858	1,869	1,703	0
平成23年度 (2011)	19,888	160	156	17	381	1,684	14,286	2,099	0	1,097	8
平成24年度 (2012)	24,787	136	105	16	309	1,323	18,435	2,569	800	1,084	10
平成25年度 (2013)	15,294	136	105	16	277	1,273	11,286	1,527	0	664	10
平成26年度 (2014)	14,475	136	105	16	255	1,239	10,670	1,416	0	628	10
平成27年度 (2015)	13,826	136	81	16	228	1,189	10,259	1,304	0	603	10
平成28年度 (2016)	13,361	136	81	16	207	1,189	9,928	1,210	0	584	10

<決算額>

(単位：百万円)

開催年度	合計	一般管理費	財産管理	周辺環境対策	開催従事員事務	普通・記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構利子支払
平成22年度 (2010)	30,293	148	111	16	348	1,432	22,808	1,858	1,869	1,703	0
平成23年度 (2011)	17,955 (90.3%)	144 (90.0%)	166 (106.4%)	16 (94.1%)	428 (112.3%)	1,409 (83.7%)	12,983 (90.9%)	1,840 (87.7%)	0 ---	969 (88.3%)	0 (0.0%)
平成24年度 (2012)	23,849 (96.2%)	125 (91.9%)	506 (481.9%)	16 (100.0%)	270 (87.4%)	1,055 (79.7%)	17,458 (94.7%)	921 (35.9%)	2,269 (283.6%)	1,229 (113.4%)	0 (0.0%)
平成25年度 (2013)	28,463 (186.1%)	130 (95.6%)	174 (165.7%)	15 (93.8%)	250 (90.3%)	1,302 (102.3%)	21,731 (192.5%)	1,762 (115.4%)	1,887 ---	1,212 (182.5%)	0 (0.0%)

※1：(カッコ)内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。



・財産管理について

平成24年度 走路全面改修工事や投票本館建替工事設計委託等の支出があったため増額となりました。

平成25年度 投票本館建替工事設計と施設改修工事設計委託の支出があったため増額となりました。

・払戻事務、場外事務、納付金について

平成25年度 G Pを開催したため増額となりました。

(4) 収支の推移と過去の予測との比較

<前回調査報告>

※前回調査報告書P20 別表9-①

(単位：百万円)

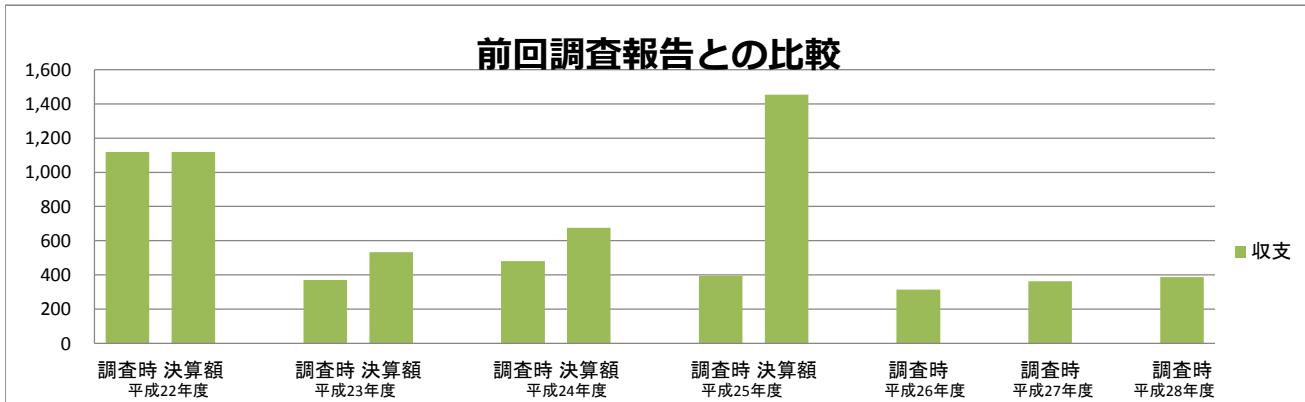
開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	備 考	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)				
平成22年度 (2010)	30,468	944	31,412	30,293	1,119	JKA還付金182	グランプリ
平成23年度 (2011)	19,088	1,171	20,259	19,888	371	JKA還付金345	
平成24年度 (2012)	24,646	623	25,269	24,787	482		日本選手権
平成25年度 (2013)	15,089	601	15,690	15,294	396		
平成26年度 (2014)	14,265	524	14,789	14,475	314		
平成27年度 (2015)	13,715	474	14,189	13,826	363		
平成28年度 (2016)	13,273	476	13,749	13,361	388		

<決算額>

(単位：百万円)

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	備 考	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)				
平成22年度 (2010)	30,468	944	31,412	30,293	1,119	JKA還付金182	グランプリ
平成23年度 (2011)	17,335 (90.8%)	1,154 (98.5%)	18,489 (91.3%)	17,955 (90.3%)	534 (143.9%)	JKA還付金320	
平成24年度 (2012)	23,319 (94.6%)	1,206 (193.6%)	24,525 (97.1%)	23,849 (96.2%)	676 (140.2%)		日本選手権
平成25年度 (2013)	29,040 (192.5%)	877 (145.9%)	29,917 (190.7%)	28,463 (186.1%)	1,454 (367.2%)		グランプリ

※1：(カッコ)内の数字は、決算額と前回調査報告との比率です。



3. 開催経費の推移

平成23年度から平成25年度までの開催経費決算額を細分化し、経費の増減をまとめました。

表① <開催経費決算額>

開催年度	合計	一般管理	財産管理	周辺環境対策	開催従事員事務	普通・記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機関利子支払
平成23年度 (2011)	17,955	144	166	16	428	1,409	12,983	1,840	0	969	0
平成24年度 (2012)	23,849	125	506	16	270	1,055	17,458	921	2,269	1,229	0
平成25年度 (2013)	28,463	130	174	15	250	1,302	21,731	1,762	1,887	1,212	0

表①

表②

表③

(単位：百万円)

表② <財産管理>

開催年度	合計	人材センター委託料	委託料	購入費	使用料および賃借料	負担金	維持補修工事費	建設委託料	原材料費・維持補修費	施設の管理委託料	修繕料	土地借上料
平成23年度 (2011)	165,547	795	7,300	1,024	2,449	0	48,195	15,960	25	46,305	13,078	30,416
平成24年度 (2012)	505,752	927	6,505	900	2,641	35	374,915	36,403	9	43,829	9,210	30,378
平成25年度 (2013)	173,634	871	2,532	0	3,418	35	12,317	71,301	20	44,125	8,560	30,455

平成23・24年度の委託料については、耐震診断調査を行ったため、例年より3,000千円程度の経費が発生しています。

平成24年度の維持補修工事費については、走路全面改修工事があったため、経費が突出しています。

建設委託料については、平成24年度と平成25年度に投票本館立替工事設計があったため、例年より経費がかかっています。

表③ <開催従事員事務>

(単位：千円)

開催年度	合計	賃金	交付金	健康保険料	報償費	使用料および賃貸借料	委託料	労災保険料
平成23年度 (2011)	427,696	270,447	145,462	3,841	105	6,275	417	1,149
平成24年度 (2012)	269,697	209,251	49,500	3,345	0	6,413	350	838
平成25年度 (2013)	250,459	195,333	43,782	3,303	0	6,275	376	1,390

平成23年度以降の賃金については、開催従事員の退職に連動して、経費が削減となり、特に平成23年度は希望退職を実施したため、平成24年度が大幅減となりました。

平成23年度の交付金については、開催従事員慰労金の経費が発生したことが要因です。

表③-1 <普通・記念開催1/2>

(単位：千円)

開催年度	合計	委託料	人材センター委託料	使用料および賃貸借料	負担金	テレビ受信料	印刷製本費	ガス費用	上下水道料	電気費用	広告料	手数料
平成23年度 (2011)	1,408,899	288,598	19,645	133,077	6,000	3,121	7,680	18,806	34,474	47,239	68,874	502
平成24年度 (2012)	1,055,299	240,121	16,120	132,627	6,000	3,109	6,624	20,786	32,623	57,948	38,289	539
平成25年度 (2013)	1,301,813	302,763	20,733	132,814	6,000	3,090	7,461	22,094	33,247	56,816	73,968	421

表③-2 <普通・記念開催2/2>

(単位：千円)

開催年度	消耗品費	食糧費	通信運搬費	燃料費	報償金	有料道路通行料
平成23年度 (2011)	31,358	220	9,618	228	739,374	85
平成24年度 (2012)	18,082	210	9,085	126	472,899	111
平成25年度 (2013)	20,634	184	8,454	118	612,944	72

平成24年度の委託料については、G1日本選手権実施に伴い、記念開催の費用が発生しなかったことに加え、走路改修工事が発生したことに伴い、普通開催が例年より少なかったため、各委託料（車券発売機・払戻機等保守委託 場内映像管理委託警備委託等）の経費が少なくなりました。

平成24年度以降の電気費用については、PPS業者の普及に伴う価格高騰から経費が高くなっています。

平成24年度の広告料と報償金については、G1日本選手権実施に伴い、記念開催の費用が発生しなかったことが要因です。

4. 今後の収支予測

(1) 車券売上の推移予測

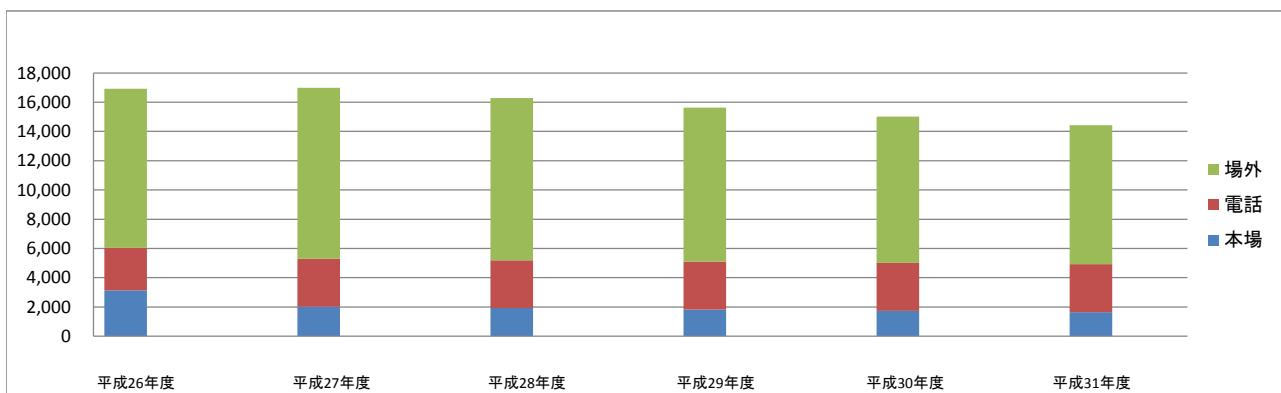
- 平成26年度の車券売上は予算見込値で記載し、平成27年度から売上予測しました。
- 平成28年度以降は本場・場外売上共に前年度比5%減になると予測します。

＜今回調査報告＞

(単位：百万円)

開催年度	合計	本場	電話	場外	内訳	
平成26年度 (2014)	16,910	3,129	2,908	10,873	普通開催 (本場135,118,000円×17節、電話124,647,000円×17節) 重勝式1,240,000円×17節、場外4,373,000,000円)	記念 81億円
平成27年度 (2015)	16,975	2,026	3,271	11,678	普通開催 (本場103,709,000円×16節、電話127,052,000円×16節) 重勝式1,252,000円×16節、場外4,784,548,000円)	記念 84億円
平成28年度 (2016)	16,290	1,925	3,271	11,094	普通開催 (本場98,524,000円×16節、電話127,052,000円×16節) 重勝式1,189,000円×16節、場外4,545,320,000円)	記念 79億8000万円
平成29年度 (2017)	15,639	1,828	3,271	10,539	普通開催 (本場93,597,000円×16節、電話127,052,000円×16節) 重勝式1,130,000円×16節、場外4,318,054,000円)	記念 75億8000万円
平成30年度 (2018)	15,020	1,737	3,271	10,012	普通開催 (本場88,918,000円×16節、電話127,052,000円×16節) 重勝式1,074,000円×16節、場外41,022,151,000円)	記念 72億円
平成31年度 (2019)	14,433	1,650	3,271	9,512	普通開催 (本場84,472,000円×16節、電話127,052,000円×16節) 重勝式1,020,000円×16節、場外3,897,044,000円)	記念 68億4000万円

※1：電話売上には、重勝式売上（Dokanto!を除く）が含まれます。



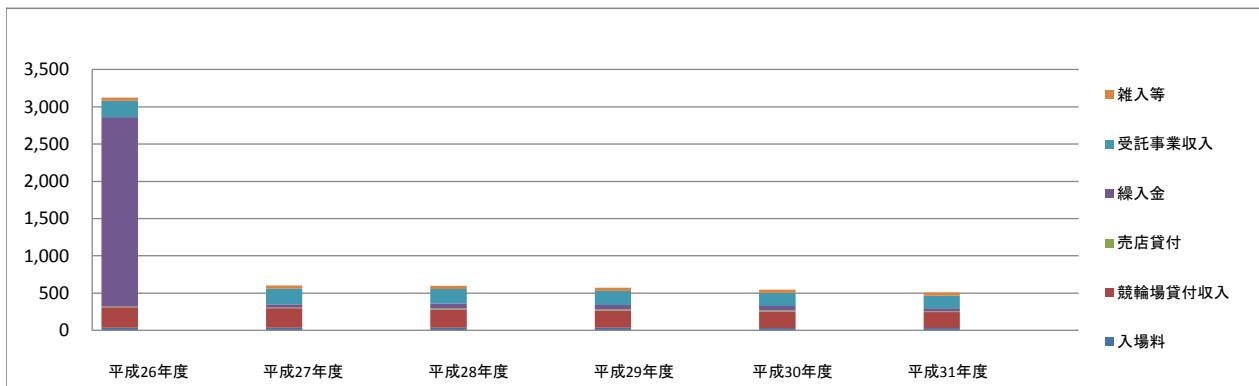
(2)その他収入の推移予測

- ・入場料 雑入等については、平成26年度は予算見込値で推移し、次年度以降の5年間は前年度比2%減になると予測します。
- ・競輪場貸付収入 受託事業収入については、平成26年度は予算見込値で推移し、次年度以降の5年間は前年度比5%減になると予測します。
- ・繰入金については、平成26年度は施設改修で2,487百万円、離職慰労金で54百万円、平成27年度以降は従事員定年離職数に合わせて変動し、平成28・30年度は慰労金のほかに走路塗布で20百万円発生すると予測します。

<今回調査報告>

(単位：百万円)

開催年度	合計	入場料	競輪場貸付 収入	売店貸付	繰入金	受託事業 収入	雑入等
平成26年度 (2014)	3,125	35	274	10	2,541	220	45
平成27年度 (2015)	601	34	260	10	44	209	44
平成28年度 (2016)	599	34	247	10	66	199	43
平成29年度 (2017)	570	33	235	10	61	189	42
平成30年度 (2018)	546	32	223	10	60	179	42
平成31年度 (2019)	506	32	212	10	41	170	41



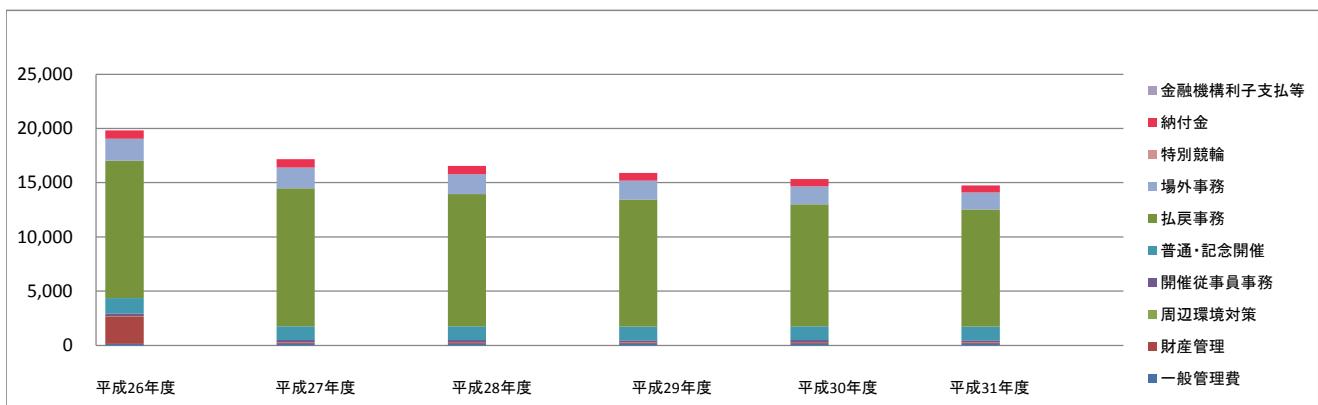
(3)支出の推移予測

- 財産管理については、平成26年度は施設改修工事予算があったため、例年と比較して経費が高くなっていますが、次年度以降は施設管理費・土地借上料の費用を固定し、平成28・30年度に走路塗布費として20百万円計上した予測としています。
- 開催従事員事務については、平成26年度は予算見込値で推移し、平成29年度までは定年離職を加味して6%減とし平成30年度からは固定した予測としています。
- 普通・記念開催については、平成26年度は予算見込値で推移し、平成27年度は車券発売・払戻機器等リース料が再リースとなるため50百万円の削減とし、選手賞金を69百万円減とした予測としています。
- 平成28年度以降の払戻事務・場外事務・納付金は前年度比5%減になると予測します。

<今回調査報告>

(単位：百万円)

開催年度	合計	一般 管理費	財産管理	周辺環境 対策	開催従事 員事務	普通・ 記念開催	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構 利子支払
平成26年度 (2014)	19,832	139	2,539	17	261	1,396	12,656	2,037	0	787	0
平成27年度 (2015)	17,182	139	89	17	245	1,277	12,702	1,927	0	785	0
平成28年度 (2016)	16,539	139	109	17	231	1,277	12,190	1,831	0	746	0
平成29年度 (2017)	15,889	139	89	17	217	1,277	11,703	1,739	0	708	0
平成30年度 (2018)	15,324	139	109	17	217	1,277	11,240	1,652	0	673	0
平成31年度 (2019)	14,748	139	89	17	217	1,277	10,800	1,569	0	639	0



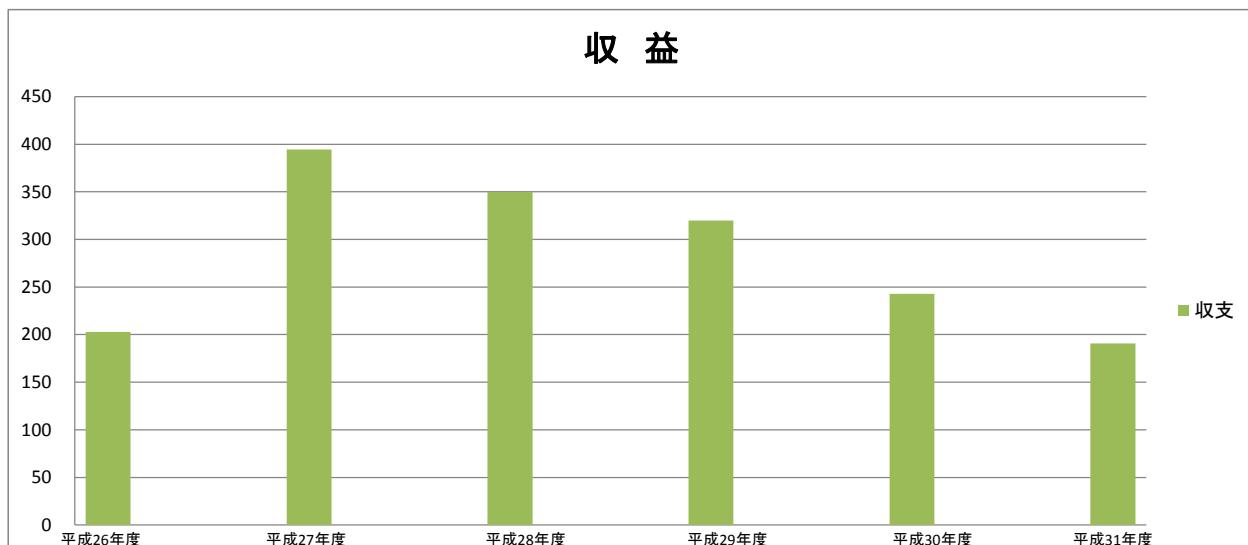
(4) 収支の推移予測

- 平成27年度から3年間は安定した収益見込みとなります。しかし、平成30年度以降は、さらなる改善策を実施し不足の事態が起きても収支が安定した体制にする必要と考えます。

＜今回調査報告＞

(単位：百万円)

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	備 考	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)				
平成26年度 (2014)	16,910	3,125	20,035	19,832	203		
平成27年度 (2015)	16,975	601	17,576	17,182	394		
平成28年度 (2016)	16,290	599	16,888	16,539	350		
平成29年度 (2017)	15,639	570	16,209	15,889	320		
平成30年度 (2018)	15,020	546	15,567	15,324	243		
平成31年度 (2019)	14,433	506	14,939	14,748	191		



5.顧客ニーズ分析

(1)立川競輪来場者アンケート調査

2014/9/4 と 9/15 の 2 日間にかけて立川競輪場内の正門と裏門にて約 300 名のお客様を対象にアンケート調査を実施しました。

尚、1 日目と 2 日目のアンケート内容は一部変えて調査を実施しました。

【アンケート調査概要】

1 日目

調査日：2014 年 9 月 4 日(木)

発売場：立川競輪 報知ゴールドカップ第 6 回山口健治杯 (F1) 3 日目

調査人数：304 名

入場者数：4,424 人

2 日目

調査日：2014 年 9 月 15 日(祝日)

発売場：前橋競輪 第 57 回オールスター競輪 (G1) 5 日目 (場外発売)

調査人数：304 名

入場者数：6,789 人

【アンケート調査実施時の状況】

両日とも開催最終日に行い、晴天に恵まれたこともあり、多くのお客様が来場したことで 15 時前には調査終了となりました。

正門と裏門で同じくらいの比率でアンケートに答えて頂きました。

1 日目は設問を選択式の内容にし、2 日目は選択式と記述式の内容にすることでお客様から貴重な意見を頂くことができました。

他場に比べて、記述に時間を割くお客様が多く、立川競輪に期待されているお客様が多かったことが印象的でした。

(2)アンケート結果まとめ ※詳細については巻末に記載します。

① 場者の属性

来場者の殆どが男性という結果になり、女性は夫に連れられて来場する方ばかりでした。平日は 60 才以上の占める割合が 80% を超え、休日は 20 代から 50 代までの世代が占める割合が増えたことで、約 70% となりましたが、平日・休日に係わらず 20 代 30 代の占める割合は低いです。

② 交通手段

どの交通手段も万遍なく利用されています。都心部にありながらも自動車の占める割合が高いのは、大型の無料駐車場がある影響だと考えられ、休日になるとさらに自動車の占める割合が高くなります。

③来場頻度

初めて来られた方を除けば、どの項目も平均値に近似した結果となりました。1 日目と比較してほぼ毎日来られるお客様が半分の割合になり、その代わりに 4~11 日程度来られるお客様の割合が多くなりました。

④来場理由

理由に本場開催時と場外開催時を挙げられる方が多い結果となりました。本場・場外開催問わず、開催有無が大きな来場要因であると考えられます。

⑤携帯電話等使用率

携帯電話は持っている方が約 50% と高い反面、スマートフォンの普及率は約 10% と低い結果になりました。

⑥特別観覧席利用頻度

利用しない方が約 40% となり、一番多い割合となりました。また、来場頻度と比較してみると毎日来られるお客様の 65% 程度が特別観覧席を利用していることになります。

⑦食堂・売店の利用状況

利用するが約 70%で、利用しないが約 30%という数字になりました。利用有無の理由については票がわかれましたが、特別観覧席の食堂が閉鎖したことで利用しなくなったというお客様も多かったです。

⑧場内イベント評価

ファンサービス品の無料配布が高得点であることから、頻度を増やすことで、更にお客様が満足されるものと考えられます。また予想会の評価が低いのはお客様が既に競輪を熟知していることが理由と推測されます。

⑨立川競輪の活性化

ファンサービスの充実が必要と考えた方が過半数を占めています。常連のお客様には場内イベント評価の回答で上位のファンサービス品の無料配布等の回数増加に加え新規お客様向けのファンサービスを実施することで、より活性化が図れると推測されます。

⑩ガールズ競輪

おもしろいと思うを選んだ方が約 60%、つまらないと思うを選んだ方が約 40%と拮抗した結果となりましたが、別の項目にて当てやすいと思うを選んだ方が約 75%当てにくいと思うを選んだ方が約 25%と大きく差が開いた結果となりました。

⑪立川競輪場のホームページ

見たことがあると答えたお客様の割合が約 40%となり、半数以下となりました。当日来場したお客様の 20 代～50 代の全体割合が約 30%であることから年齢に比例した結果になると推測されます。

⑫ホームページを利用する際における閲覧コンテンツ

開催日程やレース情報を使用用途に挙げるお客様が約 30%いた反面、有用コンテンツである予想情報を参考にするお客様は約 5%と少ない傾向が見られました。

⑬施設に対しての感想・要望

施設を綺麗にして欲しいと答えた方が一番多く、映像表示・トイレを洋式に変更
休憩場所の増設・熱湯の提供・冷暖房設置を具体的な施設改善点としてあげた方が多
かったです。

⑭他公営競技場の中でサービスが良い施設

京王閣競輪場が占める割合が約 60%ともっとも高く、理由としては雨風が防げる
施設なっていること・無料飲料を提供している回数が多いことが大きな理由と考えら
れます。

⑮お客様からみた活性化策

ファンサービスの充実が必要と考えた方が最も多く、若いお客様や家族に向けた来場
施策が必要と考えた方が次に続きました。ナイター開催の実施や併売数・開催日数の
増加等の開催形態の変更が活性化に繋がると考えた方も多かったです。

6. 他競技場調査

数年以内に施設改修を実施した他競技場に訪問し、施設等の調査を行いました。

・静岡競輪

2012年11月に投票所の一部を施設改修し、冷暖房完備・投票所内分煙化が特徴的です。

床に光沢があり綺麗なため、ゴミのポイ捨てが少なく、ベンチ・腰かけ椅子の配置も多いため、ファンにとって快適な空間になっています。

また、2014年7月にバックスタンドの一部を改修し、平日はレディースルーム、土日祝日は解説者を配置し、初心者・女性・ファミリーを対象とした施設として、新規ファンの拡大に貢献しています。

・川崎競輪

2014年4月に西スタンドを施設改修し、無料席においても冷暖房完備・投票所内分煙化をはかり、快適な空間を提供しています。

また、西スタンド内の窓側に座席を配備し、観戦しやすい作りになっています。

・浜松オートレース

2014年7月にグリーンスタンドを施設改修し、冷暖房完備・投票所内分煙化に加え、中型モニタを設置し、場外発売時においても大人数の視聴が可能です。

また、キャッシュレスシステムを導入し、オープンスペースを広げることで椅子等の配置を多くし、快適な空間を提供しています。

・ボートレース桐生

2013年10月に外向発売所をオープンし、ボートレース桐生にて場外発売してない際でも、舟券の購入が可能な施設となっています。

冷暖房完備・投票所内分煙化もはかり、モーニングエリアでは7:30から舟券の購入が可能なオールインワンの施設となっています。

III 収支改善策

1. 施設改善

今回のアンケート結果により、お客様のニーズとして以下の施設改善要望が挙がっています。

立川競輪場においては、施設改善計画の一環として様々な取り組みを検討していますが、施設改善を効果的に行うことで、既存のお客様の滞在時間増加が見込めることに加え、新規顧客獲得効果も期待できることから、本場の売上向上施策としても有効です。

(1) 雨に濡れない施設

現在、立川競輪場には十分な数の椅子・ベンチ等が設置されていますが、その大部分が屋外に位置し、雨天時には座席数不足が発生しているとの声が挙がっています。

現在の半屋外部分への座席の設置もしくは屋外座席への屋根若しくはテントの設置が必要だと考えます。

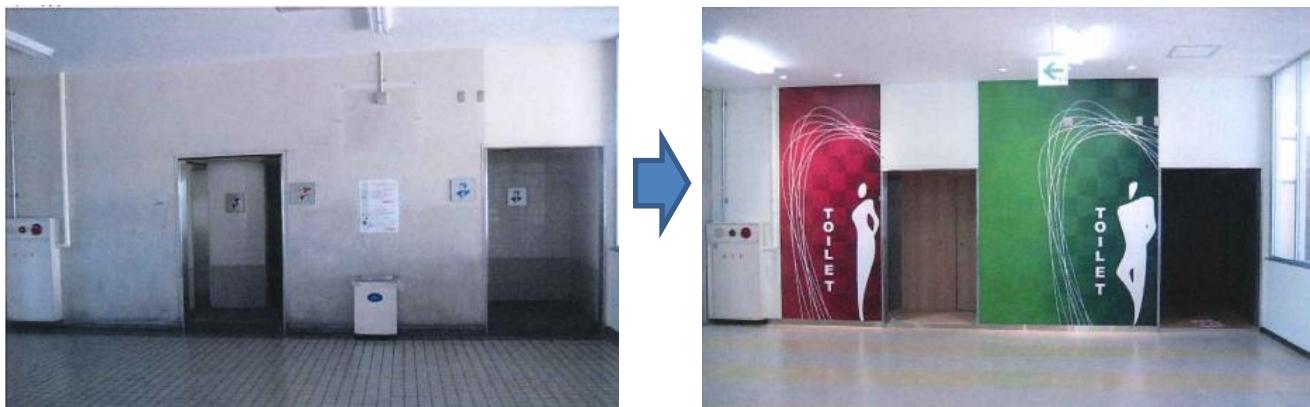


(2) トイレ改善

お客様アンケート結果より、トイレを改修して欲しいとの声が多数挙がっています。

明るく清潔なトイレは、既存のお客様が快適に過ごして頂けるだけでなく、新規顧客に再来場して頂く為の最低限必要な設備だと考えます。

※写真は浜松オートレース場のトイレ改修の様子です。



(3) 特別観覧席改修

特別観覧席を普段ご愛用頂いているお客様より、観覧席の滞留環境改善の要望が挙がっています。特に、観覧席を拡張して欲しいとの声が多く挙がっていますので、席数を間引き、一席あたりの面積を拡張することも有効と考えます。

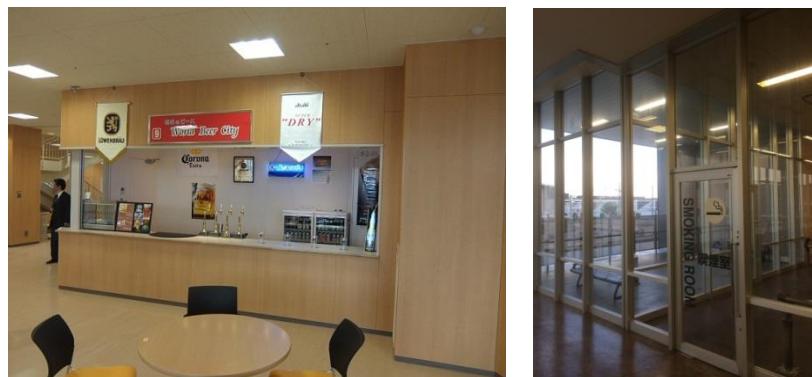
※写真は浜松オートレース場の特別観覧席改修の様子です。



(4) 分煙・分酒化

お客様アンケート結果より、場内に泥酔者が目立つ事や、歩行喫煙が目立つとの声が挙がっています。

しかしながら、愛飲家や愛煙家のお客様の滞留環境も考慮し、現状以上に専用エリアを明確化する事により、それぞれのお客様が不満なく快適に過ごす事ができると考えます。



(5) 湯茶器の入替

アンケート結果より、湯茶器によるお湯の提供の要望（薬を飲む為）が挙がっています。

新施設への建て替え時においては、イニシャルコストはかかりますが、フードコート内に設置するような機器に入れ替えることで、給湯にも対応可能です。



(6) グループ席の設置

アンケート結果の考察より、女性は夫婦・カップル等のグループで来られることが多いと推測されます。

そのためにもグループ席を設け、固まった場所でくつろげるスペースを提供することで女性ファンの拡大が図れるものと考えます。



2. 経費削減

この項目においては業務内容の見直し、並びに今後経費の増加が見込まれる業務について削減策と削減効果を記載します。

(1) 電気費用

施設改修を行う際に、効率的な機器の構成および電力消費を抑えた機器の選定 (LED 照明等) を行うことで、電気費用の削減が可能です。

また、改修後に使用する施設を集約させ、コンパクトにすることで更なる電気費用の削減が可能となり、本場発売・場外発売時に開催業務運用する施設をグレード毎に細分化して使用することで、更なる電気費用の削減が可能で、総額から 12.3% 程度の削減が可能です。

【費用削減効果見込】

・年間 約 7,000,000 円の削減 (平成 25 年度費用総額 56,816,000 円)

【LED 照明イメージ】



(2) ホームページ

現状の費用について、サーバーのレンタル費(年間レンタル代 5 万+ドメイン 2 万程度)やデザイン・各種コンテンツの運用費を差し引いても高額になっています。

今後は利用されていないコンテンツを選別し、コンパクトなホームページにすることで総額から 3 割程度の削減は可能と考えます。

【費用削減効果見込】

・年間 約 3,190,000 円の削減 (平成 25 年度費用総額 10,634,400 円)



(3) 車券発売機器・映像機器保守

機器稼働時は統制室・車券売場・映像操作室等の機器設置場所において、保守員の配置が必要となります。近年では機器構成の縮小化により、集約化が可能です。

機器設置場所を一つにまとめることで、経費の削減は可能となり、さらに統制室・車券売場・映像操作室を一つのフロアに集約することで、5%程度の削減も可能と考えます。

【費用削減効果見込】

- ・年間 約 **6,314,000 円の削減** (平成 25 年度費用総額 126,298,513 円)

【統制室・映像操作室集約イメージ】



(4) 警備体制

1) 場内における警備業務の現状

場内警備は2業者にて実施し、主な業務は出入口近辺での出入管理業務、投票券発売機前における警戒対応の警備体制となっています。

表.現在の場内警備の配置と人数

項	警備員配置場所	本場開催人数	主な業務内容
1	正門付近関係者出入口付近	1人	場内における施設警備
2	特別観覧席発売・払戻所	1人	場内における施設警備
3	管理・交通ポスト	2人	
合計		4人	

関係者出入口は常時開門で、警備員が立哨警戒する配置となり、不特定多数への監視面での問題はありませんが、体制の厳重さと効率性において課題があると考えます。

2) 競走場周辺における警備業務の現状

競走場周辺警備の主な業務は交通誘導及びお客様の安全確認であり、本場開催時と場外開催時での配置人数を変えた警備構成となっています。

表.現在の競走場周辺警備の配置と人数

項	警備員配置場所	本場開催人数	場外発売人数	主な業務内容
1	正門（バス発着場所）	4人	2人	横断歩道における交通誘導
2	立川競輪場西T字路	1人	1人	横断歩道における交通誘導
3	競輪場西門道路	---	1人	地域生活道路における巡回警備
4	バス道路横断歩道	1人	---	横断歩道における交通誘導
5	第二小学校北側T字路	1人	1人	T字路における交通誘導
6	第二小学校南側T字路	1人	1人	横断歩道における交通誘導
7	競輪場交差点	1人	1人	横断歩道における交通誘導
8	第一駐車場	4人	3人	駐車場における交通誘導
9	第二駐車場	4人	3人	駐車場における交通誘導
10	立川駅バス発着場所	3人	2人	バス乗降客の安全確認
合計		20人	15人	

競走場周辺警備においては、駐車場出入口付近における渋滞による歩行者横断への支障や、警備員配置数の適正数等の課題点があると分析しました。

3)場内の警備業務効率化案とコスト試算

場内警備は関係者出入口を常時閉鎖し（外から開かない）扉内側の立哨警戒警備員と、特別観覧席券発券機前の配置警備員で警備体制を構成します。

表.場内警備の配置と人数とコストについて

項	警備員配置場所	本場開催人数	現状との差異
1	正門付近の関係者出入口付近	0人	本場:-1
2	特別観覧席発売・払戻所	1人	
3	管理・交通ポスト	1人	本場:-1
合計		2人	本場:-2

特別観覧席発売・払戻所配置の警備員は、利用者数に応じて関係者出入口外側での警備を行い、関係者入口常時閉鎖の上、1名内側へ配備することで1名削減可能です。

4)周辺警備における警備業務効率化案

第二駐車場の出入口での信号機による渋滞のため、歩行者横断影響があるため、2名を配置し、更に誘導灯の使用を行うことで安全性を上げます。

また、第一・第二駐車場を巡回警備にすることで効率化を図ります。

正門東側交差点横断歩道は仕様上、警備員の配置はありませんが、競走場の壁によつて見通しが悪く、安全性の確保のため、新たに1名の配置を実施します。

表.現在の競走場周辺警備の配置と人数

項	警備員配置場所	本場開催人数	場外発売人数	現状との差異
1	正門（バス発着場所）	4人	3人	場外:+1
2	立川競輪場西T字路	1人	1人	
3	競輪場西門道路	---	---	場外:-1
4	バス道路横断歩道	1人	---	
5	第二小学校北側T字路	1人	1人	
6	第二小学校南側T字路	1人	1人	
7	競輪場交差点	1人	---	場外:-1
8	第一駐車場	2人	2人	本場:-2、場外:-1
9	巡回警備	2人	1人	本場:+2、場外:+1
10	第二駐車場	2人	2人	本場:-2、場外:-1
11	立川駅バス発着場所	3人	2人	
12	西門東側交差点横断歩道	1人	0人	本場:+1
合計		19人	13人	本場:-1、場外:-2

5)場内警備における効率化案でのコスト試算

表.場内警備の現状と効率化案のコスト削減

項	開催パターン	日数	単価(日)	現状	日額	効率化案	効率化案日額
1	本場 (G III以上)	4	10,500 円	4人	168,000 円	2人	84,000 円
2	本場 (F I)	21		4人	882,000 円	2人	441,000 円
3	本場 (F II)	27		4人	1,134,000 円	2人	567,000 円
4	場外グランプリ	1		4人	42,000 円	2人	21,000 円
5	場外 (G I)	15		0人	0 円	0人	0 円
6	場外 (G II)	0		0人	0 円	0人	0 円
7	場外 (G III)	49		0人	0 円	0人	0 円
8	場外 (F I)	24		0人	0 円	0人	0 円
合計				2,226,000 円			<u>1,113,000 円</u>

↑ 差異: 1,113,000 円 ↑

効率化案により、現状との差異は 1,113,000 円であり 50.0% の削減が可能です。

6)周辺警備における効率化案でのコスト試算

表.周辺警備の現状と効率化案のコスト削減

項	開催パターン	日数	単価(日)	現状	日額	効率化案	効率化案日額
1	本場 (G III以上)	4	10,500 円	20人	840,000 円	19人	798,000 円
2	本場 (F I)	21		20人	4,410,000 円	19人	2,205,000 円
3	本場 (F II)	27		20人	5,670,000 円	19人	5,386,500 円
4	場外グランプリ	1		20人	210,000 円	19人	199,500 円
5	場外 (G I)	15		15人	2,362,500 円	13人	2,047,500 円
6	場外 (G II)	0		0人	0 円	0人	0 円
7	場外 (G III)	49		15人	7,717,500 円	13人	6,688,500 円
8	場外 (F I)	24		15人	3,780,000 円	13人	3,276,000 円
合計				24,990,000 円			<u>20,601,000 円</u>

↑ 差異: 4,389,000 円 ↑

効率化案により、現状との差異は 4,389,000 円であり約 17.5% の削減が可能です。

【費用削減効果見込】

・年間 約 5,502,000 円の削減 (平成 26 年度概算費用総額 27,216,000 円)

IV 今後の収支予測（改善後）

- 前頁の施策および施設改善した後の予測を記載しました。

1.車券売上の推移予測（改善後）

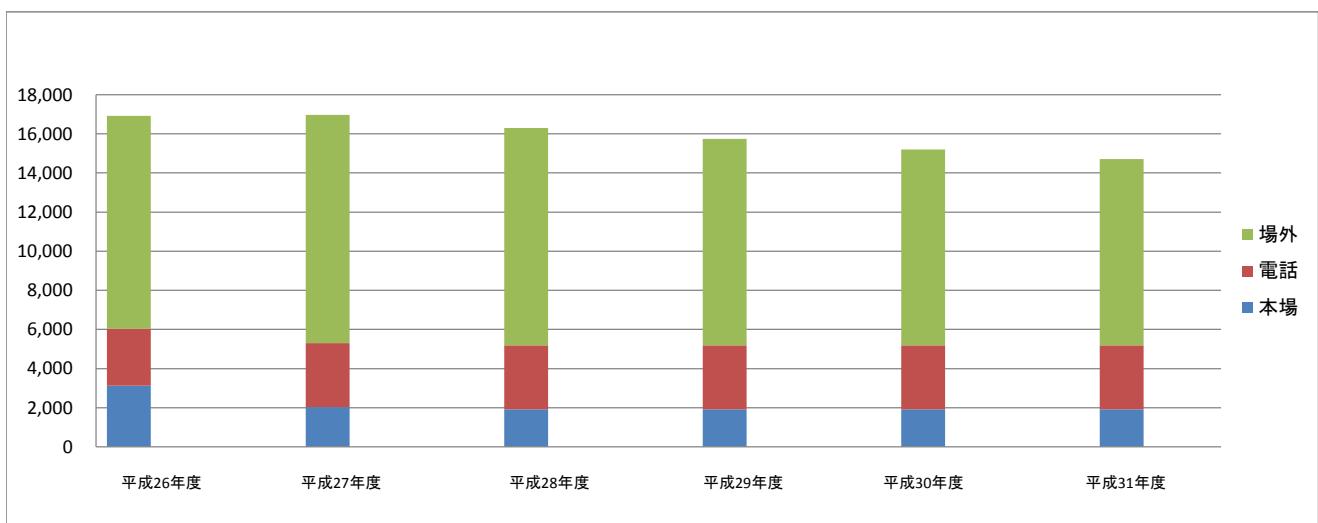
- 平成29年度から施設改修効果により、本場売上が横ばいに推移すると予測しました。

＜今回調査報告＞

（単位：百万円）

開催年度	合計	本場	電話	場外	内訳	
平成26年度 (2014)	16,910	3,129	2,908	10,873	普通開催（本場135,118,000円×17節、電話124,647,000円×17節） 重勝式1,240,000円×17節、場外4,373,000,000円）	記念 81億円
平成27年度 (2015)	16,975	2,026	3,271	11,678	普通開催（本場103,709,000円×16節、電話127,052,000円×16節、 重勝式1,252,000円×16節、場外4,784,548,000円）	記念 84億円
平成28年度 (2016)	16,290	1,925	3,271	11,094	普通開催（本場98,524,000円×16節、電話127,052,000円×16節、 重勝式1,189,000円×16節、場外4,545,320,000円）	記念 79億8000万円
平成29年度 (2017)	15,735	1,925	3,271	10,539	普通開催（本場98,524,000円×16節、電話127,052,000円×16節、 重勝式1,130,000円×16節、場外4,318,054,000円）	記念 77億円
平成30年度 (2018)	15,208	1,925	3,271	10,012	普通開催（本場98,524,000円×16節、電話127,052,000円×16節、 重勝式1,074,000円×16節、場外41,022,151,000円）	記念 74億3000万円
平成31年度 (2019)	14,708	1,925	3,271	9,512	普通開催（本場98,524,000円×16節、電話127,052,000円×16節、 重勝式1,020,000円×16節、場外3,897,044,000円）	記念 71億7000万円

※1：電話売上には、重勝式売上（Dokanto!を除く）が含まれます。



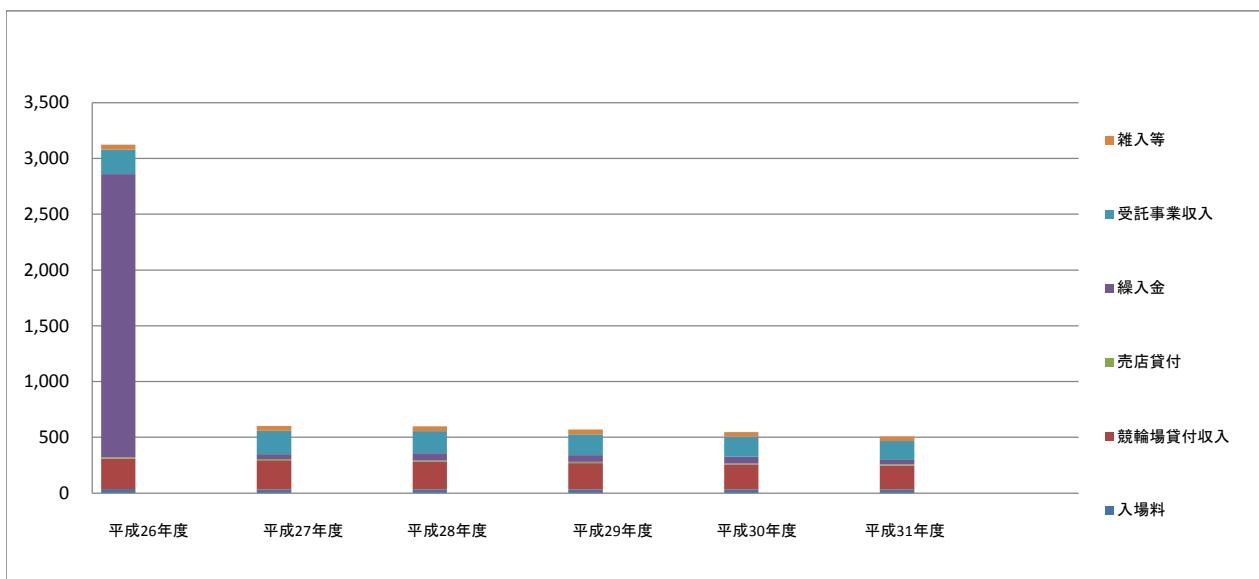
2.その他収入の推移予測（改善後）

- 平成29年度から施設改修効果により、入場料が横ばいに推移すると予測しました。

＜今回調査報告＞

(単位：百万円)

開催年度	合計	入場料	競輪場貸付 収入	売店貸付	繰入金	受託事業 収入	雑入等
平成26年度 (2014)	3,125	35	274	10	2,541	220	45
平成27年度 (2015)	601	34	260	10	44	209	44
平成28年度 (2016)	599	34	247	10	66	199	43
平成29年度 (2017)	571	34	235	10	61	189	42
平成30年度 (2018)	547	34	223	10	60	179	42
平成31年度 (2019)	508	34	212	10	41	170	41



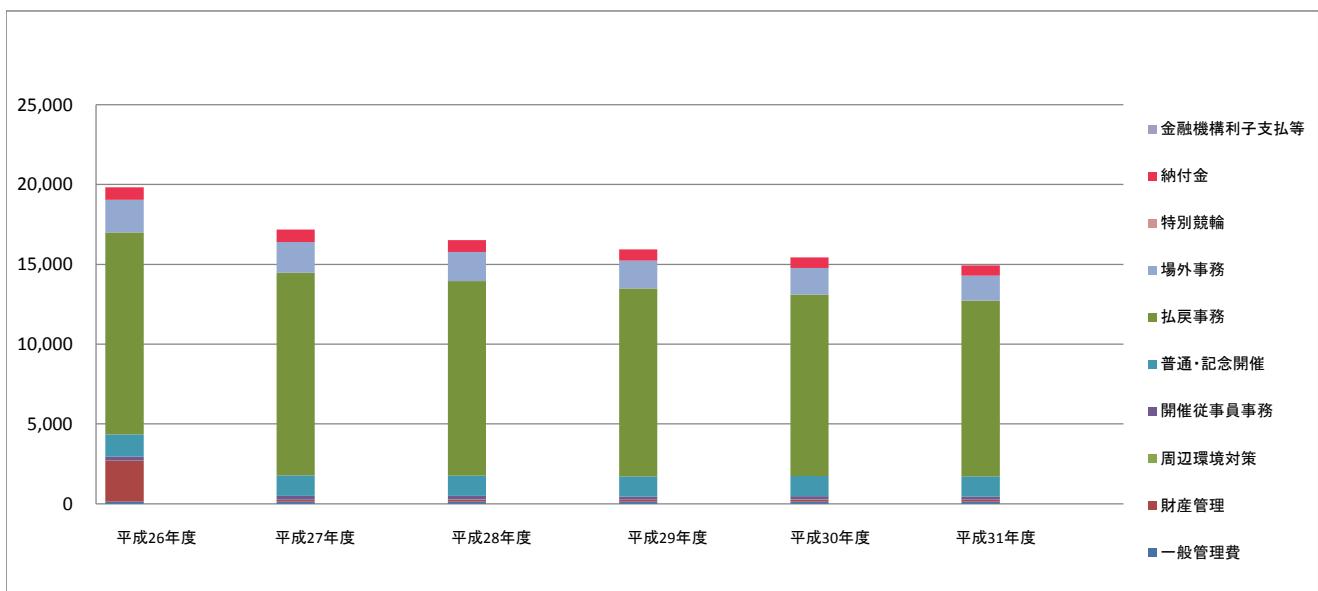
3.支出の推移予測（改善後）

- 平成28年度から経費削減策を行うことで22百万円の削減効果が発生すると予測します。

＜今回調査報告＞

(単位：百万円)

開催年度	合計	一般 管理費	財産管理	周辺環境 対策	開催従事 員事務	普通・記 念	払戻事務	場外事務	特別競輪	納付金	金融機構 利子支払
平成26年度 (2014)	19,832	139	2,539	17	261	1,396	12,656	2,037	0	787	0
平成27年度 (2015)	17,182	139	89	17	245	1,277	12,702	1,927	0	785	0
平成28年度 (2016)	16,517	139	109	17	231	1,255	12,190	1,831	0	746	0
平成29年度 (2017)	15,939	139	89	17	217	1,255	11,775	1,739	0	708	0
平成30年度 (2018)	15,442	139	109	17	217	1,255	11,380	1,652	0	673	0
平成31年度 (2019)	14,931	139	89	17	217	1,255	11,006	1,569	0	639	0

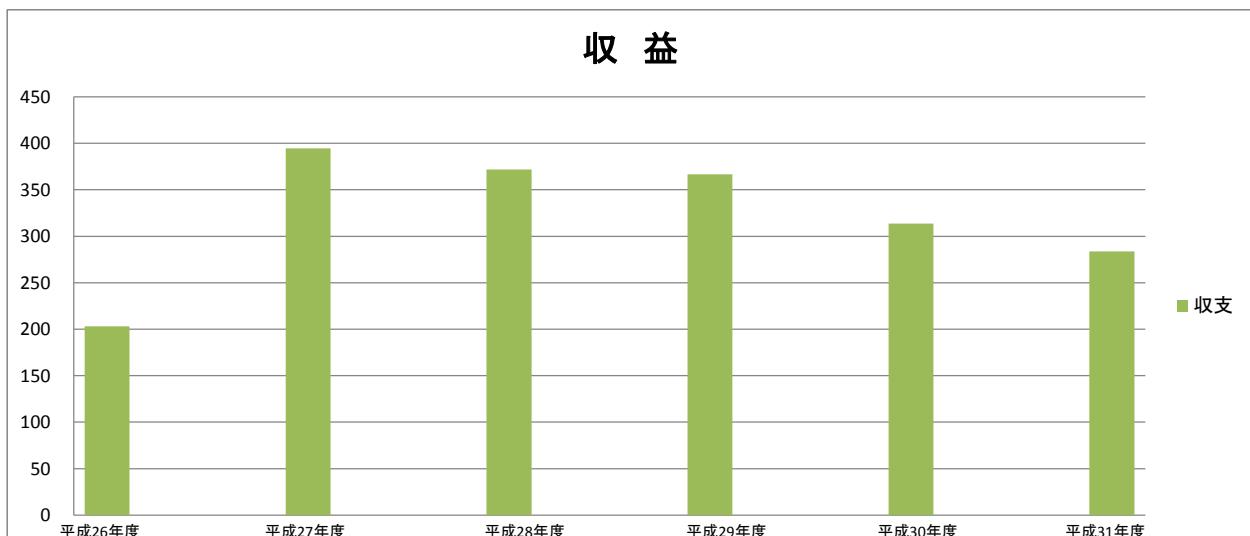


4. 収支の推移予測（改善後）

＜今回調査報告＞

(単位：百万円)

開催年度	収入			支出合計 (B)	収益 (A) - (B)	備 考	特別競輪
	車券売上	その他収入	収入合計 (A)				
平成26年度 (2014)	16,910	3,125	20,035	19,832	203		
平成27年度 (2015)	16,975	601	17,576	17,182	394		
平成28年度 (2016)	16,290	599	16,888	16,517	372	改善前と比較して 22百万円の収益向上	
平成29年度 (2017)	15,735	571	16,306	15,939	367	改善前と比較して 47百万円の収益向上	
平成30年度 (2018)	15,208	547	15,756	15,442	313	改善前と比較して 70百万円の収益向上	
平成31年度 (2019)	14,708	508	15,215	14,931	284	改善前と比較して 93百万円の収益向上	



▼ まとめ

近年の競輪界の厳しい状況の中、平成 22 年度に持続可能な競輪事業に向けて、庁内で検討を始め、翌 23 年度には学識経験者等の外部委員を加え立川競輪事業の将来像検討委員会を設置し車券売上向上策や経費削減策について様々な角度から検討を行い、更には庁内の若手ワーキンググループによる提案を受け「立川競輪事業の将来像について」を作成しました。この報告書に基づく各種施策を実施しながら平成 25 年度までは予測以上の収益を確保してきました。

この間、競輪業界全体でも売上向上策としてはモーニング競輪、ミッドナイト競輪やガールズケイリンといった新たな取り組み、経費削減策としては、開催日数の削減や選手賞金の削減並びに公納付金の率の引下げを実施することで、施行者の収支が大幅に改善されました。引き続き業界全体が一丸となり、経営改善に向けて様々な改革に取り組んでいきます。

立川競輪においては施設改修基本計画に基づく改修工事を行い、来場するお客様に快適な環境で 1 日ゆっくりと競輪を楽しんでもらう事が重要です。また、誰でも自由に競輪を観戦することが出来る開かれた競輪場にすることで、競輪場に対するこれまでの暗いイメージを変え新たなお客様を獲得するきっかけを作ります。グランプリ等のビックレースを誘致し最高峰のレースを生で観戦して頂くこともその一つと考えます。

今回報告書を作成するにあたり受託業者からは様々な提案がありました。これらの提案についてもよく検討し、今後の競輪運営に取り入れられるものは取り入れていきます。なお、提案については巻末に掲載しました。

この報告書で示したとおり平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間は少なくとも 3 億円程度の収益を確保できる予測となっていますが、常に売上向上策や仕様の見直し等による経費削減策を検討しながら今回の予測以上の成果を挙げる努力を続けていくと共に、平成 32 年度以降も持続可能な競輪運営で安定的に収益を確保することで市財政に寄与していきます。

資料

資料 1 参考資料（収支改善について）

今回の収支改善策とは別に、受託業者から以下のような提案がありましたので、参考として記載します。

1 番組・開催日程等の開催に係わる課題改善

(1) 外向発売所新設による発売日数増加・早朝発売の実施

立川競輪場にもう少し来場したいが、開催していないため来られないというファンが多く、要望に応えるためにも本場・場外開催日数を増やすことや、ボートレース場の外向前売投票所をコンセプトとした施設を競輪場内若しくは駅前に作ることで来場頻度の増加が見込めます。

(2) ナイター競輪発売

ナイター開催を実施することで、昼開催では来場時間が合わなかつたお客様の囲い込みができ、レーザービームや 3D マッピングなどに合わせて、選手紹介等を行うことでエンターテイメント性を持たせ、競輪場及び競輪選手の P R 演出を実施することで来場促進に繋げます。

また、施設やバンク、競輪場周辺をライトアップし、競輪場の外からでも開催していることが目に見えるような演出を行うことで来場の促進を図ります。更に、競輪場周辺は夜になると暗いため外灯の役割を持たせ競輪場周辺の安全を保つ効果も期待できると考えます。

2 来場方法

(1) ファンバス運用方法検討

平成 26 年度より貸切バス新運賃体制が導入され、今後は 1 日あたりの単価が増加となることが予測されます。

1 年に 1 回程度、乗車人数やお客様のニーズ確認を行い、運行形態の見直し等を行い、経費改善を行っていくべきと考えます。

立川駅・玉川上水駅から各々バスを運行している内容を、玉川上水駅から立川駅(または立川駅経由の玉川上水駅)を経由し、競輪場着(運行時間約 15 分)に変更を行う事で、1 便当たりの運行時間は伸びますが、便数の見直しを行う事ができ、経費の圧縮が出来ると考えます。

また、時間帯によっては利用者が増える可能性もあり、お客様の利便性も向上すると考えます。

(2)レンタサイクルの導入

立川市の第3次長期総合計画の基本計画にもある交通網の整備の一部に、自転車を活かしたまちづくりがあげられています。立川競輪にてレンタサイクルを実施し、駅前と立川競輪を繋ぐ交通手段としての実施も有効と考えます。

3 広告宣伝の改善

(1)各種広報誌への掲出

地域広報誌や各種フリーペーパーに立川競輪場の紹介、イベント情報等を掲出する事により、購読者の層にターゲットを絞ったアプローチが可能となります。

(2)学生コンテスト

近隣の大学・専門学校の学生にポスター作製、カレンダー挿絵などで作品を展示するコンテストを実施。実際に採用し、学生の就職等に役立ててもらいます。

(3)ホームページ及びSNS・Twitterを使用した広告の強化

ホームページとFacebook・TwitterなどSNSとの連動による広報活動の強化を実施することで利用率の向上を図ります。

SNSからの情報発信により、ホームページへ誘導し、ホームページ内において場内情報やイベント内容の詳細、予想コンテンツ等、ファンにとって魅力的な内容を充実させ利用率向上と共に、来場促進を行ないます。

また、選手会と連動し選手のプライベート情報も掲載することにより、より親近感をもってもらうことも可能になります。

また、Facebookにて広告を出す（有料）ことにより、もっとも適した広告が表示され、配信設定も細かく行えるようになります。

競輪未経験者の方にはもちろん、広告を届けたいユーザーにのみ表示させることも可能で、低予算から出稿が可能であるため、近年の広告には欠かせないものになっています。

4 競輪場に対するイメージ改善

(1) 地域住民のイメージ改善

① ネーミングライツ（命名権）

企業に命名権を販売します。ネーミングライツは企業の認知度向上の為に行われるもので、1990年に主にアメリカのプロスポーツで急速に広まり日本でも多くの競技場が採用しています。

企業のイメージアップだけでなく、いずれの競技場もネーミングライツにより「味スタ」「ヤフードーム」等愛称で呼ばれるようになるなど、親しみやすいイメージとなっています。

例) 東京スタジアム → 味の素スタジアム（東京都調布市）

福岡ドーム → 福岡 Yahoo!Japan ドーム（福岡県福岡市）

横浜国際総合競技場 → 日産スタジアム（神奈川県横浜市）

② 公共施設化

例) 場内で行政出張所を設け、行政サービスを行う。

場内に図書館を設け学生や子供が利用する機会を作る。

③ オリンピックパブリックビューイング

立川競輪内にてパブリックビューイングを行い、オリンピック中に施設を有効活用することでオリンピックと立川競輪場のコラボレーションを実現させます。

④ 立川市内の施設とのコラボレーション

立川市内には昭和記念公園を始めとした来場目的としいうる施設が多いことが利点と捉えることができます。

市内施設利用者には競輪場来場特典をつけ、競輪場利用者には市内施設向けの特典をつけ、相互利用を図り、またファンバスを施設間に巡回させ、来場目的後に利用する機会を増やすことで、ファンの拡大を図ります。

⑤ お子様向けの STRIDER（ストライダー）試乗会＆ミニレースの実施

ストライダーは、ここ数年お子様の間で流行している乗り物で、怪我をする要因であるペダル、チェーン類等は一切付属してなく、小さなお子様が誰でも直感的に操作でき、自然とバランス感覚を養えるので将来スムーズに自転車に乗り換える事が出来るため支持されています。

全国的に STRIDER（ストライダー）大会も数多く実施されており、小さなお子様を持つ家族を対象に定期的に STRIDER（ストライダー）試乗会を実施する事により、ファミリー世代を中心とした周辺地域の地域ファン獲得に繋げることが可能です。

⑥期間限定出店

自分のお店を出すという夢に向かって起業を目指す地元の方に、競輪場内の空きスペースを期間限定で無料提供することにより、地域に根差した企業家の発掘・育成の手助けを行ないます。

⑦近隣住民へのイベント利用目的における施設開放

地元農家による朝市の実施、ワークショップ（体験型講座）イベント、キッズダンス大会を定期的に実施し、練習の成果を発表する場を提供することで、サービスの提供をはかり、競輪観戦を目的としない方にもアピールが行えます。

(2)女性ファンに対するイメージ改善

- ・閉鎖投票所を活用した女性向けイベントの実施

閉鎖投票所にネイルサロンやドクターフィッシュを誘致し、女性ファンの来場を狙います。

(3)若年層ファンに対するイメージ改善

- ・閉鎖投票所の活用（アニメ展）

立川市は実在する官公庁設備や街並みが、『とある魔術の禁書目録』『とある科学の超電磁砲』とはじめとする様々なアニメに登場し、アニメの聖地と呼ばれています。場内にフリーブースを設け、アニメに関するイベント、グッズ販売コーナー等を設けて、サブカルチャーが好きな世代に立川競輪に訪れる機会を作ります。

5 食事メニューの改善

(1)名物・格安メニューの作成

①基本メニューの充実

来場されたお客様に満足してもらい再来場に繋げるには、安価で高品質な食事の提供は不可欠で、フードコートや屋台村のようにバリエーション豊富でかつ名物となり得るメニューを安価に提供する事により、ランチタイムや会社帰りのサラリーマン、OLが食事を目的として来場して頂けるような環境を整え、新規顧客の獲得を目指します。

②地元農産物を使用したメニュー開発

立川市は北部を中心に農業が盛んで都市と農業が共生するまちづくりがなされています。地元野菜を中心とした産地直売所を場内に設け、農業従事者や主婦、子供が施設に触れる機会を増やします。

③地元スイーツ店の菓子販売

地元スイーツ店の銘菓を集め、販売する事により、女性ファンの集客を狙います。

④学生割引の導入

飲食店において学生割引はポピュラーなサービスとなっております。

競輪場でも同様のサービスを導入する事により、20歳以上の学生の来場促進を促します。

⑤コンビニエンスストア設置

現在、他競技でも場内(外向販売)へのコンビニ設置が多くみられ、車券等を購入する以外にも足を運ばれるお客様が増えており、立川競輪場の立地を考えれば近隣にコンビニも少なく、誘致するのに最適ではないかと思われます。

また、場内の売店と競合し、双方が良い方向で切磋琢磨することで品質向上等も期待できるのではないかと考えます。

6 接客向上

・研修実施による接客スキルアップ

アンケート調査によると現段階でも一定の接客スキルがあると見て取れます、人によって対応にはらつきがあると捉えることができます。

これに対してスタッフ種別に定期的に研修を実施することで、接客スキルの平均化が図れ、ファンの満足度が向上します。

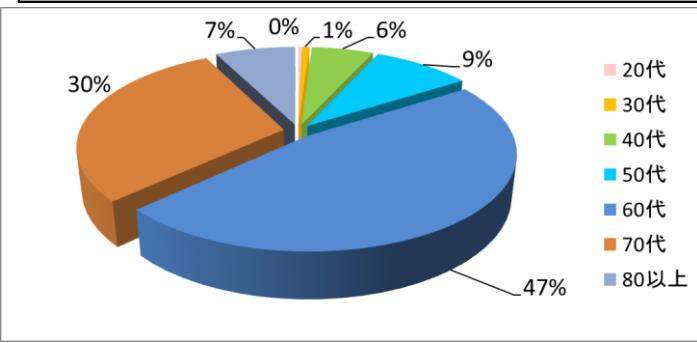
資料2 アンケート調査結果 【9/4 アンケート内容および調査結果詳細】

性別 男・女



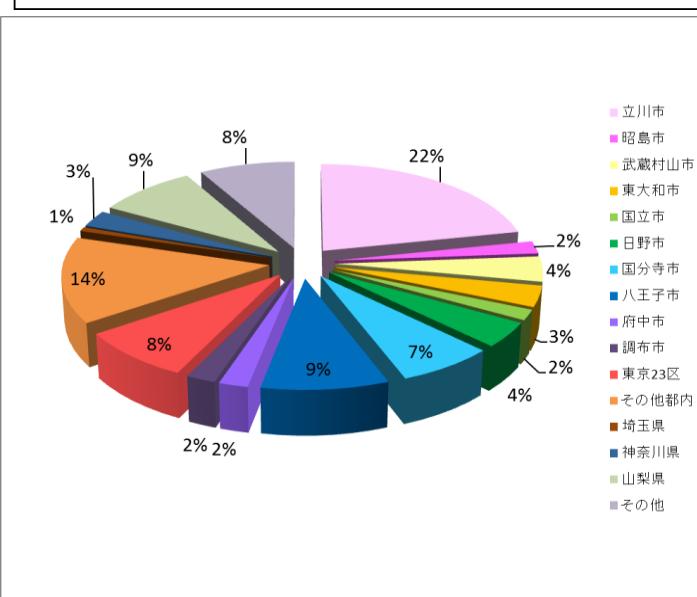
来場者の殆どが男性という結果になり、女性は夫に連れられて来場する方がほとんどでした。

年齢 20代・30代・40代・50代・60代・70代・80以上



平日にアンケートを行ったこともあり60才以上の占める割合が80%を超えていました。その代わりに20代・30代がほとんどいません。

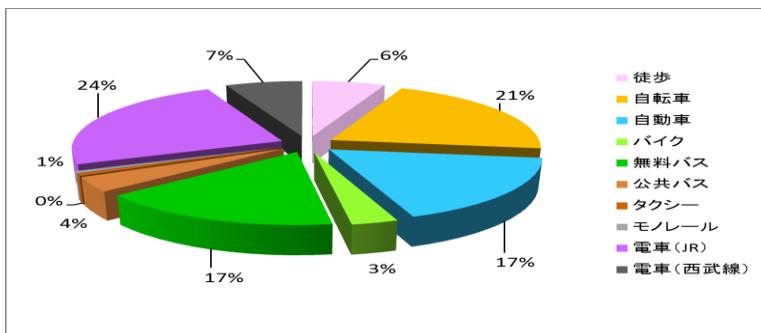
住所	立川市	武蔵村山市	東大和市	国分寺市	国立市
日野市					
東京23区					
その他都内					
その他					



地元である立川市とその近辺から来られる方が一番多くなりましたが、立川での競輪開催ということもあって色々な地域から来られる方が多かったです。

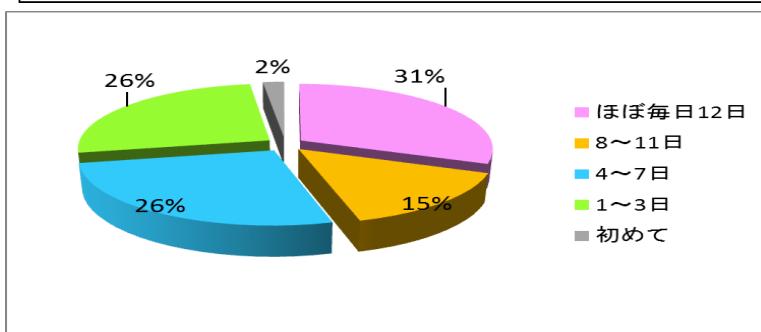
問1. 本日の交通手段は何で来られましたか？(複数回答可)

徒歩・自転車・自動車・バイク・無料バス・公共バス・タクシー
モノレール・電車(JR)・電車(西武線)



どの交通手段も万遍なく利用されています。都心部にありながらも自動車に占める割合が多いのは、大型の無料駐車場がある影響だと考えられます。

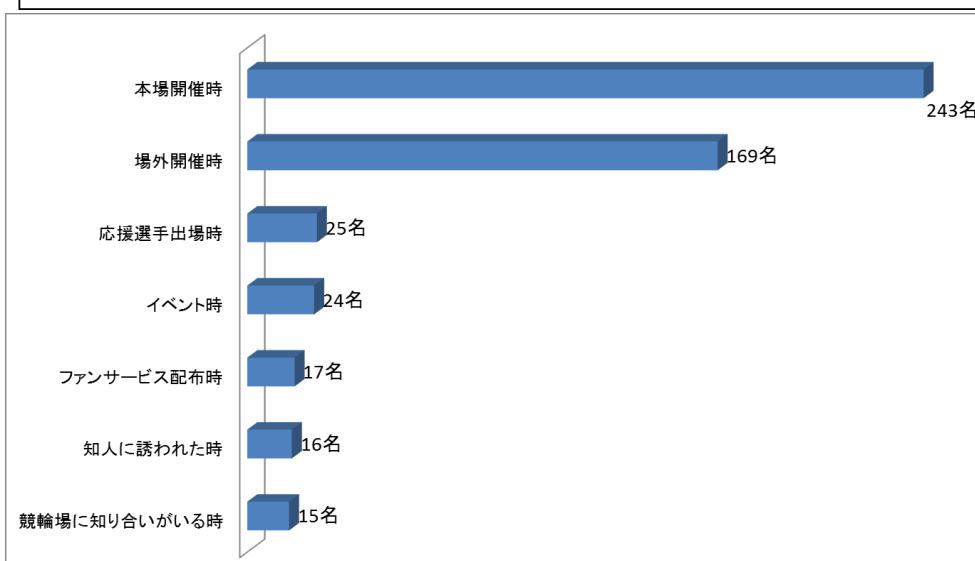
問2. 1ヶ月のうち立川競輪場に来場される頻度はどれくらいですか？
12日(開催日ほぼ毎日)・8～11日・4～7日・1～3日・初めて



初めて来られた方を除けば、どの項目も平均値に近似した結果となりました。

問3. 立川競輪場にはどのような時に来場されますか？(複数回答可)

本場開催時・場外開催時・トークショー等のイベントがある時
応援している選手が出走する時・知人に誘われた時
ファンサービス品が配布される時・立川競輪場に知り合いがいる時

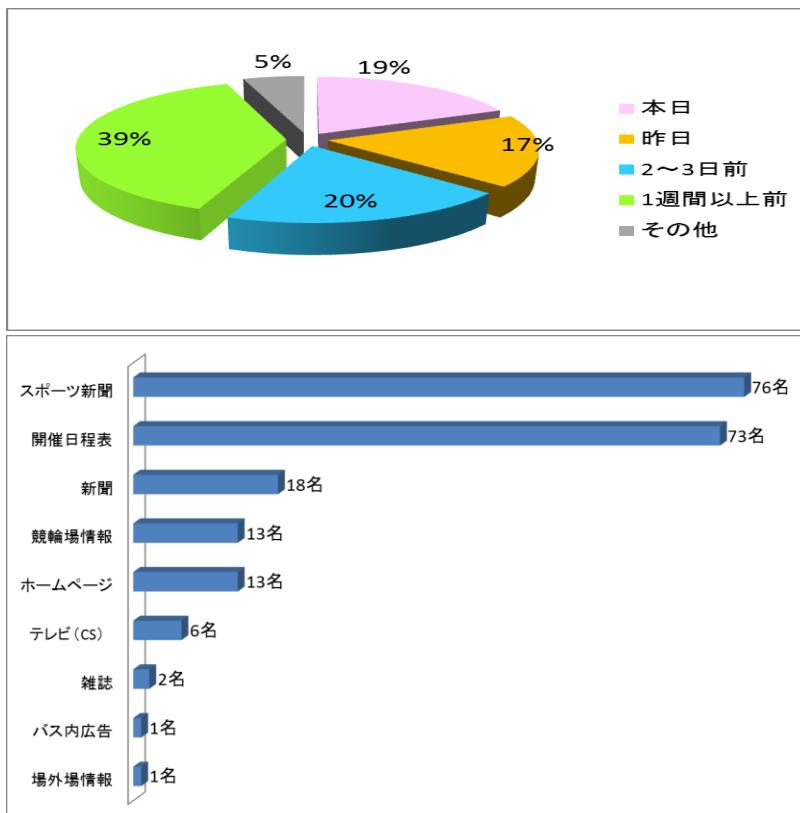


理由に本場開催時と場外開催時を挙げられる方が多い結果となりました。
本場・場外開催問わず、開催有無が大きな来場要因であると考えられます。

問4. 本日の来場は、いつ決められましたか？

また今回の開催情報をどこで目にしましたか？(複数回答可)

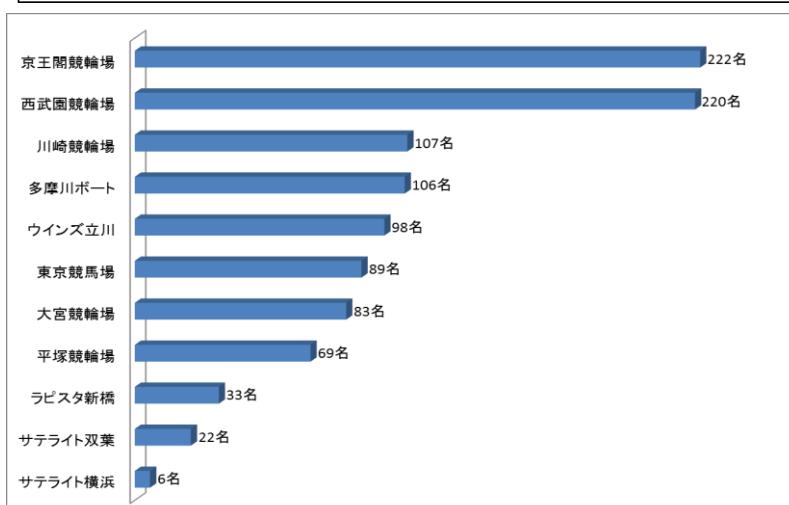
- 本日 · 昨日 · 2~3日前 · 1週間以上前 · その他
- スポーツ新聞 · 開催日程表(マイスケジュール) · バス内広告
- 競輪場での情報 · 場外車券売場での情報 · ホームページ
- テレビ(CS放送) · 新聞 · 雑誌 · 知人からの情報



本場開催日の最終日ということもあって、3日以内に来場を決めたお客様が60%を超えています。開催情報については身近に手に入る紙媒体を見て来場される方が多いとの結果になりました。

問5. 他の公営競技場に行ったことはありますか？(複数回答可)

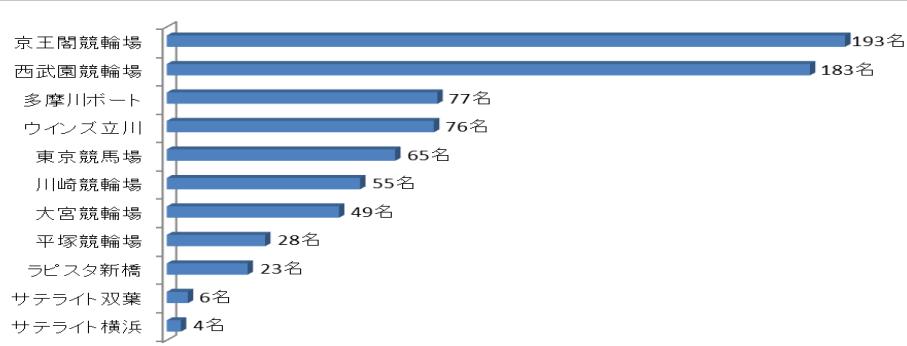
- 京王閣競輪場 · 川崎競輪場 · 平塚競輪場 · 西武園競輪場
- 大宮競輪場 · サテライト双葉 · サテライト横浜 · ラピスタ新橋
- 多摩川ボートレース場 · 東京競馬場 · ウインズ立川



近隣の競輪場には行ったことがあると答えたお客様が66%以上で、他競技に行ったことがあるお客様が33%程度になっていることを見ると競技を選ぶお客様が多いことが伺えます。

問6. 立川競輪場が開催していない時に、他の公営競技場へは行かれますか？
(複数回答可)

- 京王閣競輪場 ・ 川崎競輪場 ・ 平塚競輪場 ・ 西武園競輪場
 大宮競輪場 ・ サテライト双葉 ・ サテライト横浜 ・ ラピ斯塔新橋
 多摩川ポートレース場 ・ 東京競馬場 ・ ウインズ立川



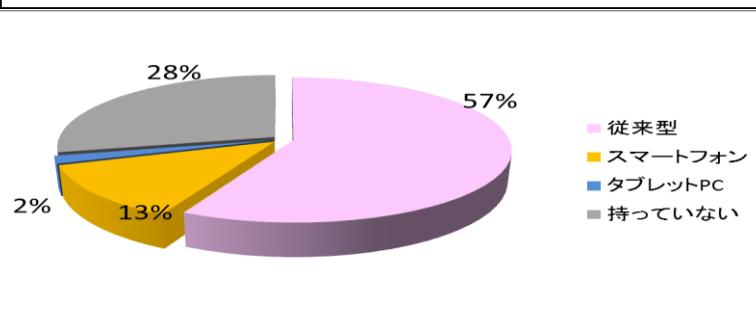
立川競輪・京王閣競輪・西武園競輪であり開催が重複しないこともあり、立川競輪で開催していない場合は、他の競輪場に行かれるお客様が多いとの結果になりました。

問7. 携帯電話等はお持ちですか？またお使いの種類をお答えください。

持っている

持っていない

- 従来型 ・ スマートフォン ・ タブレットPC



携帯電話は持っていますが、スマートフォンの普及率は低い状況から従来型携帯電話への競輪情報の供給はいまだに必要と考えられます。

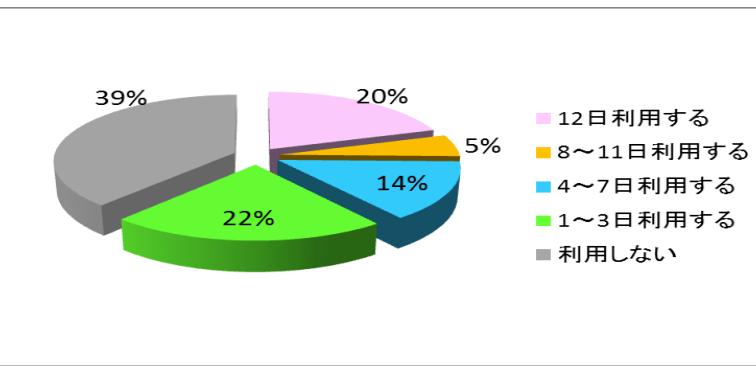
問8. 特別観覧席を利用しますか？

また利用頻度は1ヶ月のうちどれくらいですか？

・利用する

・利用しない

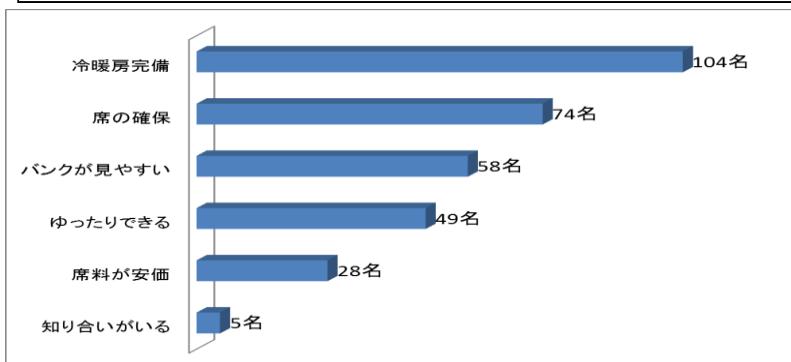
- 12日(開催日ほぼ毎日) ・ 8～11日 ・ 4～7日 ・ 1～3日



問2と比較して見た場合、毎日来られるお客様の65%程度が特別観覧席を利用しています。

問9. 特別観覧席を利用する理由はありますか？(複数回答可)

- 冷暖房完備
- ・席の確保ができる
- ・パンクが見やすい
- 席料が安い
- ・ゆったりできる
- ・知り合いがいる



問8と比較して見た場合、冷暖房完備を理由とされたお客様が50%以上います。席料が他場に比べて安いことが、思っていたより理由になっていないようです。

問10-1. ご来場した際に場内の食堂・売店はご利用になりますか？

- ・利用する
 - ・利用しない
- (問10-2もお答えください) (問10-3もお答えください)

問10-2. 問10-1にて「利用する」を選んだ方に質問します。

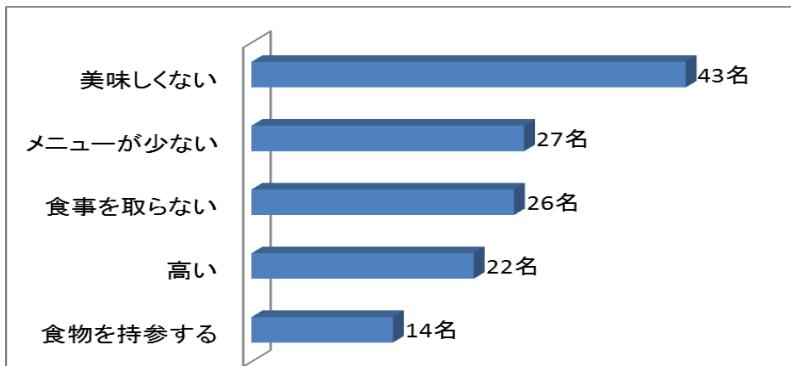
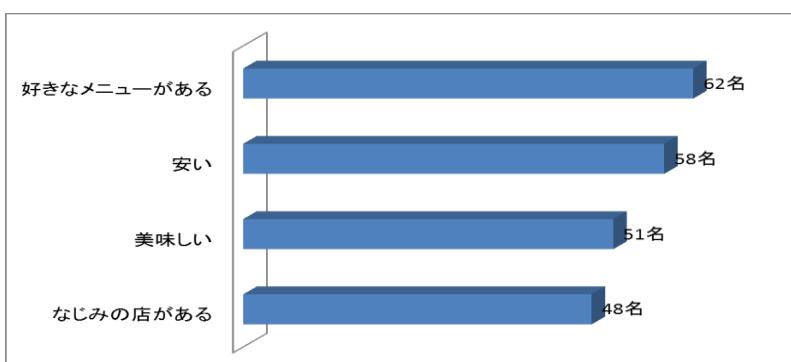
利用される主な理由をお答え下さい。(複数回答可)

- 美味しい
- ・安い
- ・好きなメニューがある
- ・なじみの店がある

問10-3. 問10-1にて「利用しない」を選んだ方に質問します。

利用しない主な理由をお答え下さい。(複数回答可)

- 美味しい
- ・高い
- ・メニューが少ない
- ・食べ物を用意して来場する
- ・食事を取らない



利用するが202名で、利用しないが89名という数字になりました。

理由はばらけていますが、特別観覧席の食堂が閉鎖したことで利用しなくなつたというお客様も多かったです。

問11. お客様の印象に残ったイベント、良かったと思うイベントについて
 下記の実施事例から選択し、得点をご記入ください。
 (例: 5点=大変良い、4点どちらかというと良い、3点=普通
 2点=どちらかというと悪い、1点=悪い)

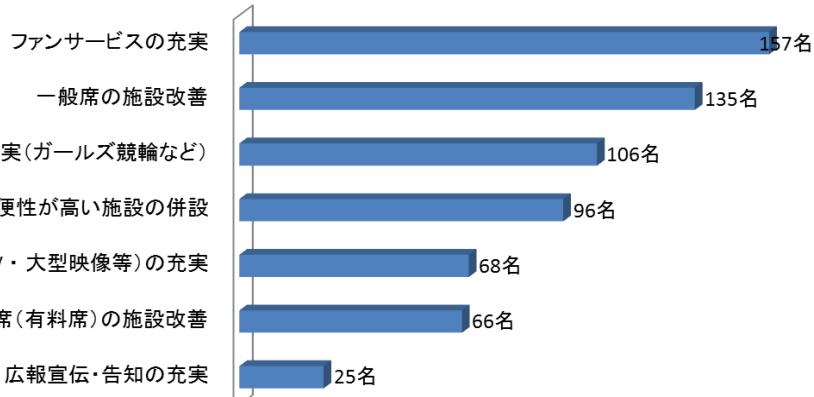
	大変良い	普通	悪い	
①新聞記者・評論家による予想会	5	4	3	2
②競輪選手・評論家によるトークショー	5	4	3	2
③ガラポン抽選会	5	4	3	2
④スピードくじ	5	4	3	2
⑤ファンサービス品の無料配布	5	4	3	2

①	5 37名	4 55名	3 155名	2 23名	1 18名	平均3.243
②	5 71名	4 71名	3 131名	2 12名	1 12名	平均3.595
③	5 73名	4 43名	3 128名	2 22名	1 16名	平均3.478
④	5 84名	4 45名	3 127名	2 17名	1 13名	平均3.594
⑤	5 93名	4 53名	3 112名	2 17名	1 11名	平均3.699

ファンサービス品の無料配布が高得点であることから、頻度を増やすことで、更にお客様が満足されるものと考えられます。予想会の評価が低いのはお客様が既に競輪を熟知していることが理由であると推測されます。

問12. 立川競輪をより一層活性化(魅力あるものにする)していくためには何が一番必要でしょうか。必要と思われる下記の事業①～⑦に○印をつけてください。※○印は3つ以内でお願いします。

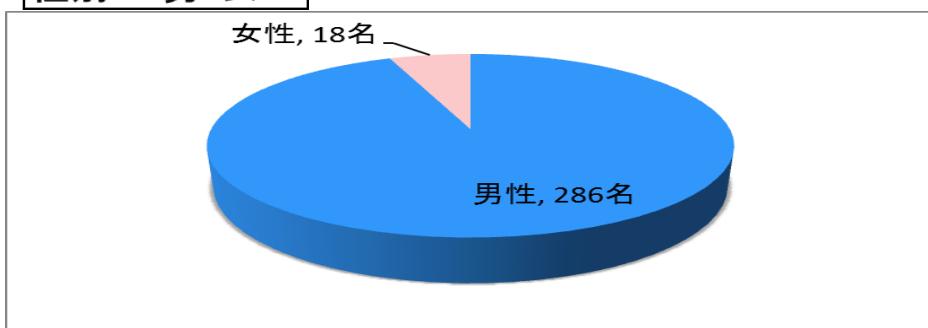
- ①一般席の施設改善
- ②特別観覧席(有料席)の施設改善
- ③ファンサービスの充実
- ④コンビニエンスストア等の利便性が高い施設の併設
- ⑤広報宣伝・告知の充実
- ⑥レース番組の充実(人気選手の斡旋・ガールズ競輪)
- ⑦レース情報(オッズ用TV・大型映像等)の充実



ファンサービスの充実を理由とした方が過半数を占めました。常連のお客様には問11の回答で上位になった項目の回数増加に加え、新規お客様向けのファンサービスを加えることで、より活性化が図れるものと考えられます。

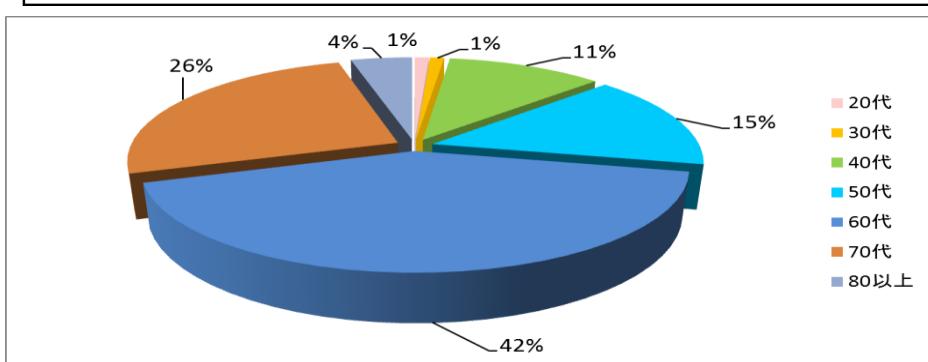
【9/15 アンケート内容および調査結果】

性別 男・女



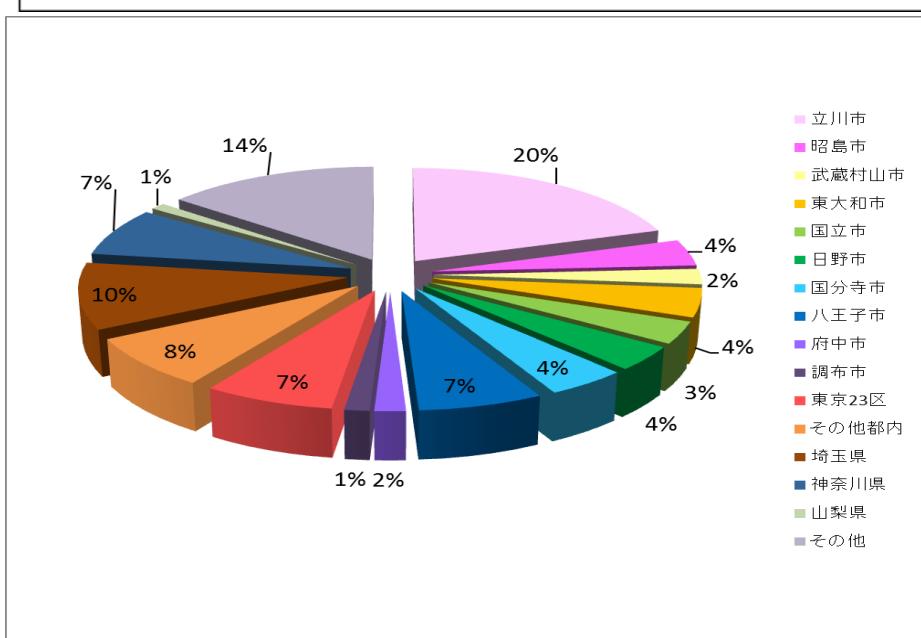
1回目と同じく来場者の殆どが男性という結果になり、女性は夫に連れられて来場する方ばかりでしたが、休日のため女性数が若干増えています。

年齢 20代・30代・40代・50代・60代・70代・80以上



平日と比較して、20代から50代までの世代が占める割合が増えています。
20代・30代は平日と比較して微増となりましたが、依然として低い状況です。

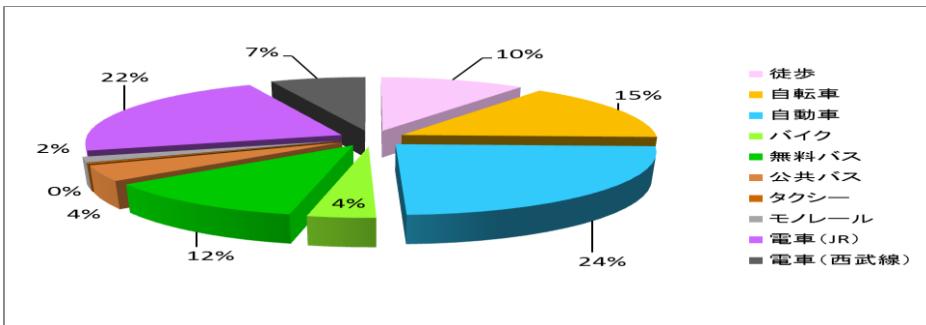
住所	立川市	武蔵村山市	東大和市	国分寺市	国立市
	日野市	昭島市	八王子市	府中市	調布市
	東京23区	その他都内	山梨県	神奈川県	埼玉県
	その他				



1日のアンケート調査と比較して、埼玉県から来られたお客様が多くその他都内から来られたお客様が少ない結果となりました。
西武園競輪で発売していない影響があったからだと推測されます。

問1. 本日の交通手段は何で来られましたか？

徒歩・自転車・自動車・バイク・ファンバス・公共バス・タクシー
モノレール・電車(JR)・電車(西武線)

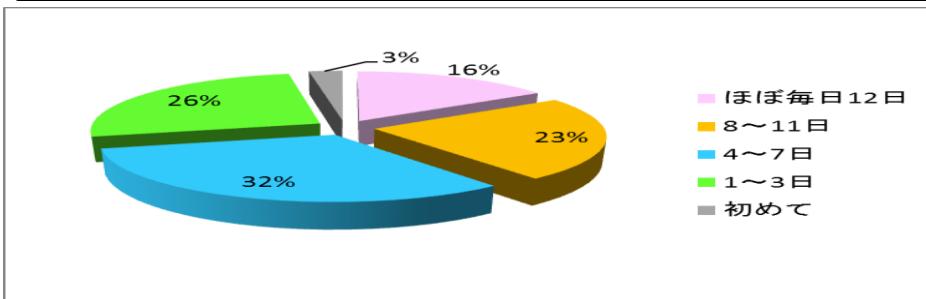


1日目と比較して自動車に占める割合が多くなりました。

理由としては近隣場と比べて、無料駐車場の数が多く利用し易い環境からと推測されます。

問2. 1ヶ月のうち立川競輪場に来場される頻度はどれくらいですか？

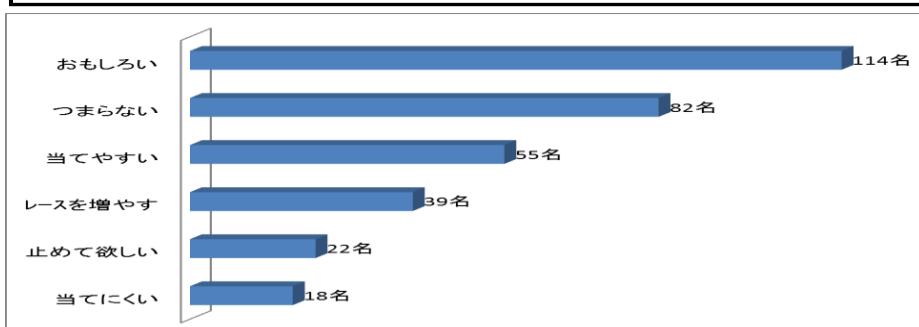
12日(開催日ほぼ毎日)・8～11日・4～7日・1～3日・初めて



1日目と比較して、ほぼ毎日来られるお客様の割合が半分に、その代わりに4～11日程度来られるお客様の割合が多くなりました。休日のみ来場されるミドルユーザーが多いのが理由だと推測されます。

問3. ガールズケイリンについて、どう思われますか？

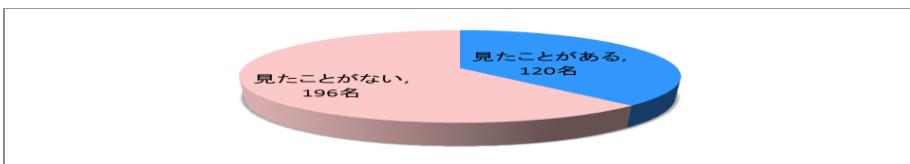
おもしろい・つまらない・当てやすい・当てにくい
レースを増やして欲しい
出来れば止めて欲しい



おもしろいとつまらないの比率が約60%と約40%と拮抗した結果となりましたが、当てやすいと当てにくいの比率は約75%と約25%と大きく差が開きました。

問4. 立川競輪場のホームページについて

見たことがある
見たことがない



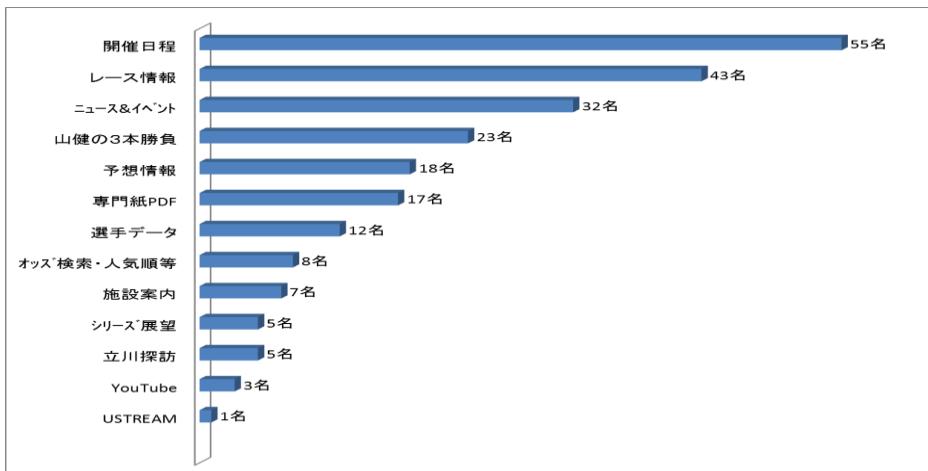
見たことがあるお客様の割合が約40%となり、半数以下となりました。

当日来場したお客様の20代～50代の全体割合が約30%であることから年齢に比例した結果になると推測されます。

問5. 間4で「見たことがある」を選んだ方に質問します。

普段、利用されているコンテンツをお答え下さい。(複数回答可)

- ①ニュース&イベント情報
- ②開催日程
- ③レース情報
- ④予想情報
- ⑤選手データ
- ⑥施設案内
- ⑦立川探訪
- ⑧競輪専門紙PDF
- ⑨専門記者によるシリーズ展望
- ⑩山口健治の3本勝負
- ⑪オッズ検索/人気順/出目情報
- ⑫TCB4☆2(投票シミュレーションゲーム)
- ⑬YouTube立川競輪チャンネル
- ⑭USTREAM立川競輪ライブチャンネル
- ⑮その他()



開催日程やレース情報を使用用途に挙げるお客様が約30%いた反面、有用コンテンツである予想情報を参考にするお客様は約5%と少ない傾向が見られます。

問6. 立川競輪場の施設について、どう思われですか？

良い所や悪い所がありましたらお客様のご意見をお聞かせ下さい。

最終頁に記載

問7. お客様が行った事のある他の公営競技場で施設やサービスが

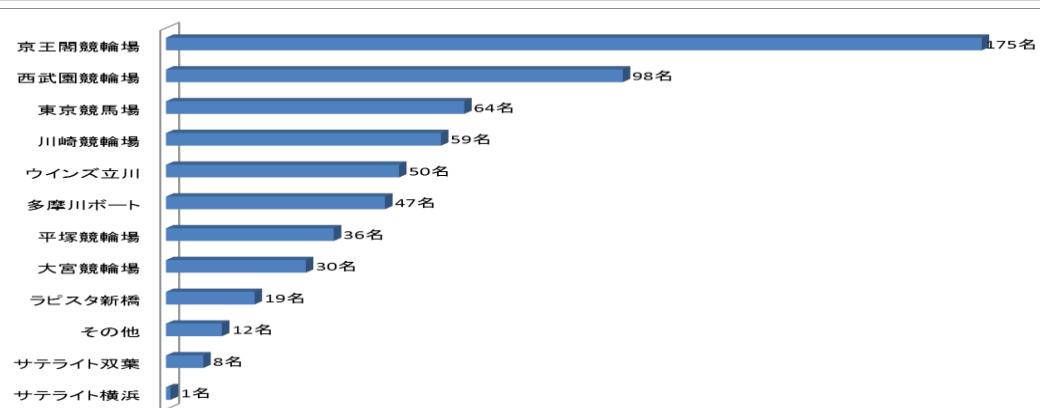
良かったと思う場所はありますか？(複数回答可)

理由ありましたらカッコ内にご記入お願いします。

- 京王閣競輪場
- ・ 川崎競輪場
- ・ 平塚競輪場
- ・ 西武園競輪場
- 大宮競輪場
- ・ サテライト双葉
- ・ サテライト横浜
- ・ ラピ스타新橋
- 多摩川ボートレース場
- ・ 東京競馬場
- ・ ウインズ立川
- その他()

(

)



京王閣競輪場の占める割合が約60%ともっとも高く、理由としては雨風が防げる施設になっていること・無料飲料を提供している回数が多いことが大きな理由に挙げられます。

問8. お客様から見て、立川競輪場関係者の接客(態度)サービスについて
得点をご記入下さい。

(例:5点=大変良い、4点=どちらかといふと良い、3点=普通

2点=どちらかといふと悪い、1点=悪い

	大変良い	ふつう	悪い
①インフォメーションスタッフ	5点	4点	3点
②警備員	5点	4点	3点
③清掃員	5点	4点	3点
④窓口スタッフ	5点	4点	3点
⑤関係者()	5点	4点	3点
			2点
			1点

※⑤について、具体的に分りましたらカッコ内に記入願います。

インフォメーションスタッフ	5 47名	4 74名	3 162名	2 22名	1 7名	平均3.423
警備員	5 51名	4 64名	3 153名	2 33名	1 16名	平均3.318
清掃員	5 62名	4 90名	3 125名	2 27名	1 8名	平均3.548
窓口スタッフ	5 40名	4 79名	3 138名	2 32名	1 19名	平均3.288
関係者	5 34名	4 59名	3 160名	2 25名	1 15名	平均3.245

どの項目も平均値以上の結果となりましたが、清掃員が5点と4点に占める割合が最も高く
平均でも一番良い数値となりました。

問9. 立川競輪をより一層活性化(魅力あるものにする)していくためには

何が一番必要でしょうか?

またお客様のご意見ご要望がありましたら、ご記入お願ひします。

最終頁に記載

感想・要望(施設・設備)

・ 施設をきれいにして欲しい	19
・ 映像(オッズ)表示を見やすくして欲しい	14
・ トイレを洋式にしてきれいにして欲しい	14
・ 飲食店が少ないので多くして欲しい	11
・ 良い雰囲気の施設	11
・ 椅子・休憩場所を増やして欲しい	10
・ お湯が出る場所を設けて欲しい	9
・ 一般席の冷暖房設置	9
・ 車券購入場所を増やして欲しい	6
・ ゴミ箱を増やして欲しい	5
・ 無料駐車場がある	5
・ 特別観覧席に食堂が欲しい	4
・ ファンバスの増加	4
・ 喫煙所を増やして欲しい	3
・ 特別観覧席の入場券購入がわかりづらく、かかる時間が長い	3
・ 交通が便利	3
・ キッズルームの設置をして欲しい	3
・ 競輪場が大きく迫力のあるレースが見える	3
・ これからの施設改修に期待します	2
・ 特別観覧席の席を広くして欲しい	2
・ 特別観覧席の改修	2
・ 中央ファンサービス館で車券購入できるようにして欲しい	2
・ ATMを設置して欲しい	2
・ 女性トイレ内に物を置く所が欲しい	
・ 場外発売時のスピーカー音量が小さいので大きくして欲しい	
・ 雨が降った後にすぐにベンチを拭いて欲しい	
・ 2階に向かう際の階段を色分けして足を踏み外すことのないようにして欲しい	
・ 駅から近くして欲しい	
・ 駐輪場を増やして欲しい	
・ 景品の投げ入れは危険なので手渡しできるようにして欲しい	
・ エレベーターの設置があり助かる	
・ 建物のドーム化	
・ 口頭での車券購入窓口を設置して欲しい	
・ 医療室の風邪薬の配布	
・ マークカードが見づらく、記載箇所が多いので改善して欲しい	
・ 身障者用トイレの増設	
・ 女子トイレを広くして欲しい	
・ 併売時にテレビ音声を流れるようにして欲しい	
・ 競輪場出入口の増加	
・ 場内にコンビニや外食チェーン店を入れる	
・ 予想屋を多く配置して欲しい	
・ 老人用救急施設の設置	
・	
・	

感想・要望(活性化策)

・ ファンサービスの充実	20
・ 若いファン・女性・家族を集客できるようにすべき	14
・ 接客対応を改善して欲しい	9
・ ナイター開催の実施	8
・ 併売数・開催日数の増加	7
・ 帰りのファンバスを最後まで出して欲しい	7
・ 施設改修等で場内の雰囲気を明るくすべき	7
・ ファンの声をもっと聞いて欲しい	5
・ バックスタンドを無料開放する	4
・ 本場開催時の入場無料化	3
・ KEIRINグランプリを立川のみの開催にすべき	3
・ S級選手を多くして欲しい	3
・ ドリンク無料サービスの提供	3
・ 有人窓口を無くして全部自動化にする	3
・ レース番組を良くする	3
・ 車券の買い戻しをできるようにして欲しい	3
・ 来場ポイントサービス	3
・ 有料席を無料席にする	2
・ 全てのG I 発売をすべき	2
・ チャレンジレース7車立は辞めたほうが良い	2
・ 大レース開催時の臨時無料駐車場の設置	2
・ 早朝発売の実施	2
・ 警備におけるファンのマナーの注意および改善	2
・ TV・マスコミにおけるイケメン選手・ガールズ競輪の宣伝	2
・ 欠車をなくす努力をして欲しい	
・ ガールズ競輪は辞めたほうがよい	
・ 競輪関係者の頭が固すぎる	
・ 競走失格の判定が一定となっていない	
・ 女性席を増やして欲しい	
・ 警備を増やすべき	
・ 老人ホームの併設	
・ 4連単賭式の導入	
・ 競輪非開催時における施設の有効活用を行ない集客に繋げる	
・ 遠方からのファンバスの発着	
・ 競輪最高時速の計測を行ないアナウンスを実施	
・ 選手コメントを人間くさを強調したものを発表し、競輪の人間性をアピールする	
・ 無料で操作できるパソコンの設置	
・ 酔っ払いが多く雰囲気が悪いので改善して欲しい	
・ モーニングレースの実施	
・ 土日開催にS級選手参加の開催を実施	
・ ポスターによる宣伝	
・ 立川市役所職員の来場	
・ 入場入口を広くする	
・ レース終了時の再放送を早くして欲しい	
・ スポーツということをアピールして競輪のイメージアップをはかる	
・ 選手との接点が増えるイベントの増加	
・ 全て9車立にする	

感想・要望(活性化策)

- ・ペット同伴OKにする
 - ・単勝・複勝式車券の発売
 - ・明るい(年配者向け)ミュージックの放送
 - ・ゆっくりお酒を楽しみながら観戦できる場所の提供

立川競輪事業の将来像について（2014年版）

発行 平成26年11月

東京都 立川市

編集 立川市公営競技事業部 事業課

電話：042-524-1121

F A X : 042-527-1929

E-mail : jigyou@city.tachikawa.lg.jp